

天皇陛下御即位記念



下妻市大会報告書

The 74th National Sports Festival
2019.9.28~2019.10.8

In Shimotsuma City
2019.9.29~10.1 (Softball) / Boy's and Girl's
2019.5.19 (E-boat)



2019

いきいき茨城ゆめ国体
下妻市実行委員会

発刊にあたって

第74回国民体育大会下妻市実行委員会会長

下妻市長 菊池 博



全国各地から多数の選手・監督、大会関係者をお迎えして開催した「天皇陛下御即位記念いきいき茨城ゆめ国体」が、盛会のうちに幕を閉じました。

下妻市におきましては、デモンストレーションスポーツ1競技、正式競技1競技を開催し、全日程を無事終了することができました。これもひとえに準備・運営に携わっていただきました関係者のご尽力のおかげと、深く感謝しております。

5月に開催し、茨城国体で最初の競技となったデモンストレーションスポーツEポートでは、2015年9月の関東・東北豪雨の影響で私たちに甚大な被害をもたらした鬼怒川の河川護岸工事が行われる中、一面にポピーが咲いた会場で老若男女から成る出場チームが、晴天の下、心地よい汗を流しました。大勢の観客も川岸から笑顔で声援を送り、楽しい1日として多くの市民の心に残るものとなりました。

また、9月のソフトボール競技(少年男子・少年女子)は、3日間にわたって全国各地から8,000人を超える観客をお迎えし、盛大に開催することができました。会場では多くの市民ボランティアが、ふるまいコーナーで選手や来場者をもてなし、こまめな清掃活動と花への水やりできれいな会場作りに活躍し、地域ごとに結成した市民応援団「国体盛上げ応援団」と小中学校児童生徒の熱気あふれる応援により、会場は大いに沸きました。選手・監督や応援に訪れた観客の皆様へ、心温まるおもてなしとして、十分伝わったものと確信しております。

本報告書は、45年ぶりとなった茨城国体において、本市が取り組んだ実績や競技会の熱気、そして全国からお迎えした方々と市民の皆様が共有した感動を末永く後世に伝えるために作成いたしました。

これからは、今回得た貴重な経験を活かし、より一層スポーツの振興を図り、市民が主役の活気あふれるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

結びに、競技会開催にあたりご支援とご尽力を賜りましたすべての皆様へ心からお礼を申し上げ、発刊にあたってのご挨拶といたします。



第74回国民体育大会の概要

開催期間 2019年9月28日(土) ▶ 10月8日(火)

実施競技

- ・正式競技(37競技)…都道府県対抗で実施され、得点対象(天皇杯・皇后杯対象競技)となる競技
 - ・公開競技(5競技)…都道府県代表の参加により中央競技団体主導で開催する競技
 - ・特別競技(1競技)…毎年開催される高等学校野球
 - ・デモンストレーションスポーツ(31競技)…県内在住の方を参加対象として、県・会場
地市町村・県競技団体等が合意した種目
 - ・冬季競技(8競技)…北海道の釧路市と札幌市で開催。都道府県対抗で実施され、得点
対象(天皇杯・皇后杯対象競技)となる競技
- ※正式競技(37競技)、冬季競技(8競技)以外は都道府県対抗の得点対象となりません。

目的

広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的として行われています。

愛称

いきいき茨城ゆめ国体

選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々が、活気に満ちた、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典を創り上げていきます。

冠称

天皇陛下御即位記念

令和元年5月1日に天皇陛下が御即位されたことから、国では各機関・団体が実施する事業を慶祝行事と位置付ける取組みがなされました。国民体育大会も慶祝行事と位置付けられ、「御即位を記念する冠称」として「天皇陛下御即位記念」の冠称が付与されました。

スローガン

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

国体に様々な形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という想いを込めています。

マスコット



いばラッキー

いきいき茨城ゆめ国体マスコットの「いばラッキー」です。好奇心旺盛で、夢と幸運を届けるいばラッキーが大会開催の機運を盛り上げました。

下妻市開催競技

正式競技

ソフトボール競技（少年男子・少年女子）

■期 日 令和元年 9月29日(日)▶10月1日(火)

種 別	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)
少年男子	1 回 戦	準々決勝	準決勝・決勝
少年女子	1 回 戦	準々決勝	準決勝・決勝

■会 場 少年男子 砂沼広域公園野球場（下妻市半谷724-1）

柳原球場（下妻市柳原791-1）

少年女子 千代川運動公園野球場（下妻市鬼怒257）

千代川中学校グラウンド（下妻市鎌庭2777）

■主 催 公益財団法人日本スポーツ協会／文部科学省／茨城県／公益財団法人日本ソフトボール協会／
常陸太田市／下妻市

デモンストレーションスポーツ

E ポート

■期 日 令和元年 5月19日(日)

■会 場 下妻市鬼怒川大形橋上流左岸

■主 催 公益財団法人日本スポーツ協会／文部科学省／茨城県／下妻市

■主 管 下妻市ふるさとづくり推進協議会／鬼怒川流域交流 E ポート大会実行委員会

目 次

発刊にあたって	1
第74回国民体育大会の概要	2
下妻市開催競技	3

開催準備・運営

下妻市実行委員会	6
炬火イベント	7
花いっぱい運動・クリーンアップ運動	8
手づくり応援のぼり旗・応援ペットボトル	9
広報啓発活動・啓発グッズ・歓迎装飾	10
リハーサル大会	12

本大会

総合開会式	16
デモンストレーションスポーツ Eポート	18
正式競技 ソフトボール(少年男子・少年女子)	20
ソフトボール教室	24
競技役員・競技補助員	25
学校観戦・地域応援	26
大会ボランティア	28
おもてなし	30
総合閉会式	32

資 料

○大会概要・運営

第74回国民体育大会下妻市基本方針	34
開催準備経過概要	35
第74回国民体育大会下妻市実行委員会会則	38
第74回国民体育大会下妻市実行委員会組織図	40
いきいき茨城ゆめ国体下妻市市内実施本部組織図	41
運営費の推移	42

○広報・イベント

広報PR活動一覧	43
広報啓発物一覧	46
炬火イベント	47

○市民協働運動

大会ボランティア	48
手づくり応援のぼり旗・応援メッセージボード	49
手づくり応援グッズ	49
花いっぱい運動	50
クリーンアップ運動	51
文化プログラム	51
学校観戦	52
地域応援	53
応援団協力	53
協賛者一覧	54
売店・無料ドリンクコーナー・ふるまい・案内所	56
歓迎装飾	58
宿泊	59
弁当	60
衛生	60
消防・警備	61
輸送交通	62
医療救護	63
競技補助員協力校	64

○競技式典

綜合成績表	65
競技会場及び日程・来場者数一覧	66
お成り	66
ソフトボール競技実施要項	67
ソフトボール競技トーナメント表	71
ソフトボール競技成績表	72
Eポート競技実施要項	73
Eポート競技成績表	76

○名 簿

実行委員会名簿	77
専門委員会名簿	80



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

下妻市大会報告書

開催準備・運営

下妻市実行委員会

「いきいき茨城ゆめ国体」を本市で開催するにあたり、市民総参加で盛り上げ成功に導くためには、市民の総力を結集して開催準備に取り組む必要があることから、市民・関係団体・行政の各層の代表者からなる準備委員会を設立することになりました。

平成28年1月に「設立発起人会」、2月に「第74回国民体育大会下妻市準備委員会設立総会・第1回総会」を開催し、3年後の大会開催に向けた準備を本格的にスタートさせました。

同委員会は平成28年7月に日本体育協会理事会において、第74回国民体育大会の茨城県開催が正式決定となったことを受け、平成29年5月に「第74回国民体育大会下妻市実行委員会」に改称しました。

実行委員会では、常任委員会と4つの専門委員会（総務企画・競技式典・宿泊衛生・輸送交通）を設け、委員の皆さんの様々な意見を聴きながら、市民総参加による大会開催を目指しました。



実行委員会では、開催の基本方針や予算などが話し合われました



準備委員会設立発起人会



準備委員会設立総会



実行委員会総会



常任委員会



常任委員会 市長挨拶



総務企画専門委員会



競技式典専門委員会



宿泊衛生専門委員会



輸送交通専門委員会

炬火イベント

オリンピックの聖火にあたる火を、国体では「炬火(きょか)」と呼びます。下妻市開催競技（ソフトボール少年の部）の出場選手と同世代である市内高校生の手により、下妻市の火が灯されました。



採

火

各学校独自に考えた採火方法で火を起こしてもらいました。



下妻特別支援学校
「ジュール熱による炭素の燃焼」



下妻第二高等学校
「ナトリウムの化学反応による燃焼」



下妻第一高等学校
「高温過熱水蒸気による燃焼」



炬火命名会議

炬火命名会議では、採火した高校生達が炬火名案を持ち寄り、下妻市の炬火名を「蝶！光かがやく下妻ファイヤー！」に決定しました。



集

火

令和元年5月26日(日)小貝川ふれあい公園で行われた「小貝川フラワーフェスティバル」にて、3校の火を集火し、下妻市の火が誕生しました。



ハクキンカイロに炬火を保管

花いっぱい運動・クリーンアップ運動

全国各地からの来場者をお迎えするため、市民による花の育成や清掃活動に取り組みました。競技会場は、心を込めて育成された花のプランターで華やかに装飾され、ごみひとつないきれいな会場で皆さまをお迎えすることができました。

花いっぱい運動

市内小中学校の児童生徒が苗から育てた約2,000株のサルビアとマリーゴールドが、来場者や選手に向けた応援メッセージが書き込まれたプランターで花を咲かせ、会場を彩りました。また、コキアの種を配布して庭先や花壇を飾ることで、来場者を温かく迎えることができました。



たくさん子どもたちが協力してくれました



花苗を提供してくれた真壁高等学校の皆さま



花から摘みの様子



応援メッセージ プランターシール



下妻駅前花壇 応援メッセージ立て札



柳原球場周辺のコキア

クリーンアップ運動

来場者を美しい環境でお迎えするため、「いきいき茨城ゆめ国体クリーンアップ運動」として、スポーツ少年団約300名が集まり競技会場となる千代川運動公園を清掃しました。また、「市民清掃デー」や、「砂沼をきれいにする運動」では市民による清掃活動が行われました。



手づくり応援のぼり旗・応援ペットボトル

各会場に設置されたのぼり旗と応援ペットボトルは、市内の児童・生徒による手作りのおもてなしとして、下妻市を訪れる皆さまを歓迎しました。

手づくり応援のぼり旗

市内小中学校と特別支援学校の生徒たちが、47都道府県の来場者に向けて、各都道府県の名物や名所、方言を使ったメッセージなど工夫をこらした旗、約500枚を作成しました。各学校で「応援のぼり旗贈呈式」を開き、実行委員会からは感謝状をお贈りしました。



各都道府県の特徴について話し合う様子



贈呈式

応援ペットボトル

市内小学生により応援メッセージ入りペットボトルが約4,000本作成され、子どもたちの想いがつまった色とりどりのペットボトルが会場の応援に花を添えました。



広報啓発活動・啓発グッズ・歓迎装飾



千人おどり

大会開催を広く市民の皆さんに周知するため、いきいき茨城ゆめ国体のマスコットキャラクター「いばラッキー」と一緒に各種イベントに積極的に参加し、国体のPR活動を行いました。また、様々な啓発グッズを作成して大会の機運を盛り上げ、歓迎装飾や記念品により来場者や参加者に喜んでいただける大会を目指しました。

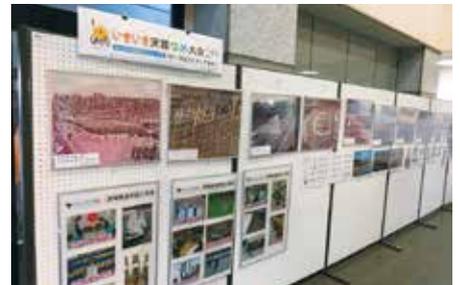
広報啓発活動



小学校国体授業（大宝小学校）



ソフトボール教室



国体思い出展



ソフトボール競技体験ブース



茨城を食べよう収穫祭2016



下中フェスタ



節分祭



新春歩け歩け大会



花とふれあいまつり

啓発グッズ



国体PRガラスフィルム



いぱラッキー缶バッジ



国体PR横断幕(小野子歩道橋)



国体下妻市開催記念切手



国体PRジャンパー



国体PRポロシャツ



国体PR軍手・ステッカーシール・ポケットティッシュ

記念品



参加記念タオル

歓迎装飾



応援メッセージボード



歓迎ポール



大会メダル(左から優勝・準優勝・第三位)



茨城国体記念章(左)、参加章(右)



手作り応援のぼり旗・飾花



歓迎のぼり旗



識別用帽子

リハーサル大会



第73回国民体育大会関東ブロック大会ソフトボール競技会（少年男子・少年女子）
【期日】平成30年8月18日(土)～20日(月)

国体開催の機運を高めるとともに競技会運営能力の向上を目的として、国体開催1年前の平成30年度にソフトボール競技のリハーサル大会を開催しました。福井国体出場を懸け、関東ブロックの各都県代表チームが3日間にわたり熱戦を繰り広げました。茨城県代表は奮闘しましたが、惜しくも福井国体出場を逃しました。

リハーサル大会を通して、本番を見据えた会場設営や運営方法などを競技団体・市職員・市民ボランティアなどのスタッフが確認し合うことで、国体開催に向けて貴重な経験を積むことができました。

少年男子

【会場】砂沼広域公園野球場・柳原球場



少年女子

【会場】千代川運動公園野球場・千代川中学校グラウンド



開始式での選手宣誓



通過式(第1代表:群馬県)



通過式(第1代表:埼玉県)

大会スタッフ



好評だった無料ドリンクコーナー



ようこそ下妻市へ！



競技補助員（高校生）



競技役員



競技会補助員（ボランティア）

応援のようす





いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

下妻市大会報告書

本大会

総合開会式



【期日】令和元年9月28日(土) 【会場】笠松運動公園陸上競技場

1974年以来45年ぶりの茨城県開催となった第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」は、9月28日(土)、笠松運動公園陸上競技場にて行われた総合開会式でスタートしました。令和最初の国体御臨席となる天皇皇后両陛下をお迎えし、航空自衛隊ブルーインパルス(Blue Impulse)の祝賀飛行や、伝統芸能、スポーツ・文化活動等で活躍する団体によるプログラムが披露された後、各都道府県選手団が入場。満員の観客席からの大歓声に包まれる中、茨城県選手団も、旗手を務めるクレイ射撃の中山由起枝さん(中山由起枝)を先頭に入場しました。

その後、大井川和彦(大井川和彦)県知事による開会宣言がなされると、44市町村から集まった炬火が炬火台に点火され、声高らかに選手宣誓が行われました。



天皇杯返還



選手代表宣誓



炬火点火



応援席



茨城県選手団入場



天皇皇后両陛下



日本フォークダンス連盟茨城支部によるフォークダンス



茨城県薫・土木工業会による梯子乗り



水戸市立第三中学校による詩舞



県内小学生によるラジオ体操



会場を盛り上げた渡辺裕之さん、マシコタツロウさん、磯山純さん、城之内早苗さん



総勢1,670名によるイメージソング「そして未来へ」のダンス披露

デモンストレーションスポーツ Eポート



小学生の部決勝

【期日】 令和元年5月19日(日) 【会場】 鬼怒川大形橋上流左岸

天候にも恵まれ、同時開催の文化プログラム事業「第28回花とふれあいまつり」も盛大に開催される中、「一般の部」「小学生の部」計40チームが鬼怒川の雄大な流れの中を疾走しました。会場で交流(exchange)したみなさんには笑顔があふれ、いきいき茨城ゆめ国体の幕開けにふさわしい素敵な競技会になりました。



たくさんの来場者でにぎわう会場



白熱したレース



青空の下行われた選手宣誓



河川護岸工事の中、設営された会場



大形小学校は選手でもスタッフでも大活躍



老若男女問わず楽しめる(enjoy)Eポート



一般の部決勝



鬼怒フラワーラインに彩られる会場

正式競技 ソフトボール（少年男子・少年女子）



9月29日(日)から10月1日(火)までの3日間、ソフトボール少年男子・少年女子の2種別が開催されました。少年男子は高知県、少年女子は長崎県が優勝。茨城代表は男女とも5位入賞という成績を収めました。全国トップレベルの選手たちのスピード感と迫力溢れるプレーに詰めかけた観客は大いに沸きました。

少年男子

【期日】 令和元年9月29日(日)～10月1日(火)

【会場】 砂沼広域公園野球場・柳原球場

ソフトボール少年男子は、天候にも恵まれ3日間の激戦の末、高知県が9年ぶり11回目の優勝を収めました。茨城県は初戦(対新潟県)、打線がつながり8-1で逆転コールド勝ち。続く準々決勝(対宮城県)は中盤まで1点を争う展開も、終盤に突き放され2対6で敗退し、5位入賞となりました。



地元下妻二高単独で結成された茨城男子チーム





第1位 高知県



第2位 長崎県



少年女子

【期日】 令和元年9月29日(日)～10月1日(火)

【会場】 千代川運動公園野球場・千代川中学校グラウンド

ソフトボール少年女子は、長崎県が2年ぶり3回目の優勝を収め、茨城県は1回戦がシード、準々決勝で2位入賞となった強豪福井県と対戦。投手が好投するも、1点が遠く0対4で敗退し、5位入賞となりました。



準優勝チーム相手に健闘した茨城女子チーム





第1位 長崎県



第2位 福井県

お成り



杉子女王殿下をお迎えする生徒たち



競技会場へ向かう杉子女王殿下



競技を御覧になる杉子女王殿下

ソフトボール教室



大会1日目(9月29日)の試合終了後、宇津木妙子さん(元女子ソフトボール日本代表監督)らを講師に迎え、千代川運動公園野球場にてソフトボール教室を開催しました。市内・近隣の中学校女子ソフトボール部員約100名が参加し、熱心に取り組んでいました。



真剣な眼差しで指導を受ける参加者



熱心に指導する宇津木さん



競技役員・競技補助員



中央競技団体や近県及び県内競技役員、市内の高校生など延べ約600人が、審判員や記録員、会場整備、競技・式典運営など様々な業務に従事しました。たくさんのスタッフの努力と支えにより、大会は成功のうちに終了しました。

競技役員



球場本部



式典（表彰式）



競技会場整備

競技補助員



学校観戦・地域応援

各会場において市内小中学校の児童生徒による学校観戦、青少年を育てる下妻市民の会各支部による地域応援(国体盛上げ応援団)が実施され、下妻市民の温かい応援が、連日繰り上げられる熱戦を後押ししました。

学校観戦



市内全小中学校がソフトボール競技を観戦
大きな声でエールを送りました



白球の行方に一喜一憂



下妻一高為櫻応援団が茨城県代表を応援

地域応援 ～国体盛上げ応援団～



市民の会各支部(全10支部)で応援団を結成



応援団で地域の絆も深まりました



全国から多くの来場者が訪れました



チームメイトによる応援

大会ボランティア

大会運営を支え、全国から訪れる選手や観客の方々を温かくおもてなしするためのボランティアとして、多くの市民の皆さまに参加していただきました。当日はおもてなし研修会で学んだ「お客様を温かく迎えるおもてなしの心」で、たくさんのボランティアの方が大会を支えてくれました。

おもてなし研修会



お互いに笑顔を練習しあう参加者たち



講師 齋藤由紀子氏



広報活動



いばラッキー手作り缶バッジ



国体PRブースは子供たちに大人気



フェイスペイントで国体PR



大会運営



多くの来場者で大忙し



ガイドブックで観光案内



ペットボトル仕分け作業



JOA日本語学院による環境美化ボランティア

会場飾花の水やり

おもてなし



ふるまい

各会場にはおもてなしブースが設置され、ふるまいコーナーの下妻産の梨をはじめ、梨ゼリー・梨のフィナンシェ・ポークジャーキー・無料ドリンクがふるまわれました。下妻市に来てよかったと思っただけのよう、係員・ボランティアが一体となって心からのおもてなしを行いました。

また、売店では国体の記念にと、国体グッズや特産品を購入する来場者でにぎわいました。



大好評だったふるまいコーナー



梨のフィナンシェ配布



休憩所でふるまいの梨を食べる観覧者たち

ドリンクサービス



売店



総合閉会式



【期日】 令和元年10月8日(火) 【会場】 笠松運動公園陸上競技場

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の総合閉会式が、令和元年10月8日(火)、眞子内親王殿下ご臨席のもと笠松運動公園陸上競技場にて行われ、11日間の熱い戦いが幕を閉じました。茨城県は男女総合成績2,569点、女子総合成績1,331点で、ともに1位となり、天皇杯(男女総合)・皇后杯(女子総合)を獲得しました。また、選手たちの熱戦を見守り続けた炬火が納火され、国体旗が次年度開催の鹿児島県三反園訓知事へ手渡されると、閉会が宣言されました。

熱戦を繰り広げた選手たちには感動やねぎらいの言葉がかけられ、惜しめない声援と拍手が送られました。



筑波山ガマ口上保存会



いばらき舞祭ネットワーク



国体ハイライト上映



天皇杯を獲得した茨城県



眞子内親王殿下より皇后杯授与



鹿児島県へ引き継がれる国体旗



全国の選手をお見送り



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

下妻市大会報告書

資 料

第74回国民体育大会下妻市基本方針

1 基本方針

下妻市において開催される第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）は、下妻市民一人ひとりの英知と情熱を結集し、総力を挙げて、魅力と感動にあふれた大会として開催します。

また、下妻市はこの大会を契機として、競技力の向上はもとより、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しめるまちづくりを推進し、スポーツを通じた元気なまち「健幸都市しもつま」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) 市民協働による大会

国民体育大会の成功に向け、市民の参加意識の高揚を図りながら、市民総参加のもと関係団体・行政が一丸となって大会を盛り上げていくとともに、市民が喜びと感動を分かち合い、地域の活力を創出する大会を目指します。

(2) 笑顔とおもてなしの心があふれる大会

全国から訪れる方々を、笑顔とおもてなしの心を持って温かくお迎えし、人情味あふれる心の触れ合いを通じて、地域間や世代間の絆が深まる、心温まる大会を目指します。

(3) 下妻市の魅力を発信する大会

国体開催を本市の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、先人により大切に培われてきた豊かな自然や文化、歴史など、本市の魅力を余すところなく全国に伝える大会とします。

(4) 生涯スポーツの振興につなげる大会

選手が日頃の練習の成果を十分に発揮できる大会運営に努めることはもちろん、市民のスポーツに対する意欲や関心を高め、「する」・「観る」・「支える」ことを通じたスポーツへの関わりを促進し、日常的にスポーツに親しむことができるような環境づくりを推進します。

(5) 簡素・効率化を目指す大会

既存施設の有効活用等、簡素・効率化を図りながらも、知恵を絞り、創意工夫によって、下妻市らしい魅力と活力のあふれる大会運営を目指します。

開催準備経過概要

※太字は下妻市開催における主要な節目、重要事項等

年	月 日	主体	概 要
H23 (2011)	2月25日	県	(財)茨城県体育協会が「平成31年第74回国民体育大会の招致に関する要望書」を茨城県に提出
	3月3日	県	平成23年第1回定例県議会において知事が招致を表明
	3月22日	県	平成23年第1回定例県議会において招致を決議
	5月31日	県	(公財)日本体育協会及び文部科学省に開催要望書を提出
	7月13日	国	(公財)日本体育協会理事会において平成31年第74回国民体育大会の本県開催を了解(内々定)
	10月7日	県	誘致・開催希望予備調査を茨城県に提出
	10月17日	県	茨城県主催の市町村説明会に出席
	11月14日	県	市町村開催希望調査書を茨城県に提出
H24 (2012)	1月26日	県	茨城県主催の会場地選定聞き取り調査に出席
	5月28日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会設立総会/第1回総会並びに第1回常任委員会
	8月29日	県	茨城県主催の会場地市町村選定ヒアリングに出席
	11月12日	県	第1次選定(案)に係る内諾書を茨城県に提出 (実施競技:ソフトボール 少年男子・少年女子)
H25 (2013)	2月20日	県	茨城県準備委員会から会場地市町村の選定(第一次)通知を受領
	7月2日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第2回総会
	11月22日	市	中央競技団体正規視察(ソフトボール競技)
H26 (2014)	5月13日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第2回市町村連絡会議に出席
	7月8日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第3回総会
	7月23日	国	(公財)日本体育協会理事会において平成31年第74回国民体育大会の本県開催が内定
H27 (2015)	5月14日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第3回市町村連絡会議に出席
	7月15日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第4回総会
	10月16日	県	第74回国民体育大会デモスポ開催希望申請書及び開催希望調査書提出(Eポート)
	10月28日	県	第74回国民体育大会デモスポに係るヒアリングに出席
H28 (2016)	12月3日	県	第74回国民体育大会デモスポ実施競技及び会場地市町村の選定(第四次)通知受領
	1月29日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会設立発起人会開催
	2月25日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会設立総会/第1回総会開催
	4月1日	市	下妻市教育委員会生涯学習課内に団体推進室を設置(専任3人 うち嘱託職員1名)
	5月23日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第1回常任委員会/第2回総会開催
	5月30日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第4回市町村連絡会議に出席
	6月13日	市	第74回国民体育大会ソフトボール競技連絡会議開催(常陸太田市役所)
	6月17日	市	第72回国民体育大会(愛媛国体)リハーサル大会視察 ~19日
	7月20日	国	(公財)日本体育協会理事会において第74回国民体育大会の本県開催が決定
	7月26日	県	第74回国民体育大会茨城県準備委員会第5回総会 兼いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会実行委員会第1回総会
	8月19日	市	第71回国民体育大会(岩手国体)関東ブロック大会ソフトボール競技 視察(山梨県甲斐市他) ~22日
	10月1日	市	第71回国民体育大会(岩手国体)視察(花巻市・金ヶ崎町) ~5日
	11月13日	市	平成28年度会場地選手強化支援事業(ソフトボール体験教室)開催
	12月2日	県	デモンストレーションスポーツ開催市町村調査(Eポート)提出
	12月15日	市	第71回国民体育大会(岩手国体)花巻市事業概要説明会に出席 ~16日
	12月16日	国	第74回国民体育大会(茨城国体)競技別会期決定

年	月 日	主体	概 要
H29 (2017)	2月 7日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第2回常任委員会開催
	2月15日	県	第74回国民体育大会デモンストレーションスポーツ担当者会議に出席
	3月16日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第1回総務企画専門委員会 第74回国民体育大会下妻市準備委員会第1回輸送交通専門委員会 開催
	3月27日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第1回競技式典専門委員会 第74回国民体育大会下妻市準備委員会第1回宿泊衛生専門委員会 開催
	4月 1日	市	国体推進室に職員が2名増員される（専任5人 うち嘱託職員1名）
	4月17日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第3回常任委員会開催
	4月26日	県	デモンストレーションスポーツ競技会内容調査票提出
	5月 1日	市	庁舎内にカウントダウンボード設置
	5月15日	県	第74回国民体育大会第5回市町村連絡会議に出席
	5月16日	市	第74回国民体育大会下妻市準備委員会第3回総会 第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回総会 開催
	5月30日	市	国体横断幕を図書館に設置
	6月 9日	市	国体バナースタンドをイオンモール下妻に設置
	6月10日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）関東ブロック大会ソフトボール競技会 組合せ抽選会視察（群馬県前橋市）
	7月 5日	市	花いっぱい運動試行栽培開始（市内小中学校）
	7月11日	県	いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会実行委員会第2回総会
	7月20日	県	いきいき茨城ゆめ国体第1回競技運営担当者会議に出席
	7月28日	市	第57回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会開催 ～31日
	8月18日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）関東ブロック大会ソフトボール競技会視察 （群馬県前橋市） ～19,21日
	9月 9日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）ソフトボール競技会組合せ抽選会視察（東京都）
	9月28日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）視察 ～10月4日
10月 5日	市	花いっぱい運動施行飾花 ～16日	
10月26日	市	公用車貼付用マグネット配布	
12月13日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）東温市事業概要説明会に出席 ～15日	
12月20日	市	第72回国民体育大会（愛媛国体）西条市事業概要説明会に出席 ～22日	
H30 (2018)	2月16日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回総務企画専門委員会 第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回宿泊衛生専門委員会 開催
	2月20日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回競技式典専門委員会 第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回輸送交通専門委員会 開催
	2月27日	県	第73回国民体育大会関東ブロック大会茨城県実行委員会設立総会及び第1回総会
	3月26日	市	開催競技広報啓発用横断幕を国道125号小野子歩道橋に設置
	4月 1日	市	国体推進室に職員2名増員（専任7人 うち嘱託職員3名）
	4月23日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第1回常任委員会開催
	5月 1日	市	部課長会議において実施本部について説明
	5月14日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第2回総会開催
	5月17日	市	いきいき茨城ゆめ国体第2回競技運営担当者会議に出席
	6月 9日	市	リハーサル大会（第73回国民体育大会関東ブロック大会ソフトボール競技会） 組合せ抽選会視察（東京都）
	6月10日	国	日本ソフトボール協会評議員会視察（東京都）
	6月27日	市	リハーサル大会ポスター配布（市内関係各所・中学・高校・金融機関他約80か所）
	6月29日	市	下妻市公式ホームページ内に国体ホームページ開設
	7月24日	県	いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会実行委員会第3回総会
8月 6日	市	リハーサル大会競技会係員（市職員）説明会 ～7日	

年	月日	主体	概要
H30 (2018)	8月18日	市	リハーサル大会(第73回国民体育大会関東ブロック大会ソフトボール競技会)開催 ~20日
	9月8日	市	第73回国民体育大会(福井国体)ソフトボール競技会組合せ抽選会視察(東京都)
	9月28日	市	第73回国民体育大会(福井国体)視察 ~10月3日
	10月9日	市	花いっぱい運動試行飾花(4会場) ~11日
	12月20日	市	第73回国民体育大会(福井国体)永平寺町事業概要説明会に出席 ~21日
H31 (2019)	1月17日	市	第73回国民体育大会(福井国体)越前市事業概要説明会に出席 ~18日
	1月27日	市	ビックカメラ女子ソフトボール高崎ソフトボール教室開催
	2月7日	市	共催市調整会議
	2月17日	市	おもてなし研修会開催(県共催)
	2月19日	県	市町村担当者会議に出席
	2月6日	市	応援のぼり旗贈呈式(市内小中学校12校、特別支援学校1校) ~3月22日
	2月26日	県	茨城県行幸啓室による正式競技会場地市町村訪問・協議
	3月16日	市	県西地区200日前イベント ~17日
	3月28日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第2回輸送交通専門委員会開催
	4月1日	市	国体推進室に職員1名増員(専任8人うち嘱託職員3名)
	4月11日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第2回常任委員会/第3回総会開催
	4月23日	県	茨城県行幸啓室から電話連絡(候補地推薦の旨)
	4月26日	県	いきいき茨城ゆめ国体第4回競技運営担当者会議に出席
	R1 (2019)	5月9日	市
5月13日		市	炬火命名会議(下妻一高・下妻二高・下妻特別支援学校各校代表者)開催
5月19日		市	第74回国民体育大会デモンストレーションスポーツEポート競技会開催
5月21日		市	炬火採火式(下妻二高)
5月24日		市	炬火採火式(下妻一高)
5月26日		市	小貝川フラワーフェスティバルにおいて炬火集火式開催
6月2日		国	日本スポーツ協会会場地視察
6月2日		市	国体クリーンアップ運動(市民清掃デー)を実施
6月9日		国	日本ソフトボール協会評議員会に出席(東京都)
6月14日		県	県行幸啓室現地視察
7月17日		県	いきいき茨城ゆめ国体第5回競技運営担当者会議に出席
7月26日		県	いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会実行委員会第4回総会
8月1日		市	国体ポスター配布(600枚)
8月2日		市	市役所本庁舎市民ホールにて国体PRブースを設置 ~10月2日
8月19日		市	県ソフトボール協会調整会議
8月21日		県	行幸啓お成り現地調査
9月7日		市	第74回国民体育大会(茨城国体)ソフトボール競技会組合せ抽選会(東京都)
9月10日		市	競技会係員説明会 ~11日
9月14日		市	県ソフトボール協会・市ソフトボール連盟・下妻市合同会議開催
9月17日		県	行幸啓お成り打合せ
9月25日		市	市ソフトボール連盟・下妻市合同会議開催
9月28日		県	第74回国民体育大会(茨城国体)総合開会式
9月28日		市	第74回国民体育大会(茨城国体)ソフトボール競技会監督会議開催
9月29日	市	第74回国民体育大会(茨城国体)ソフトボール競技会開催 ~10月1日	
10月8日	県	第74回国民体育大会(茨城国体)総合閉会式	
12月17日	市	常陸太田市・下妻市開催競技に関する事業概要説明会開催 ~18日	
R2 (2020)	2月27日	市	第74回国民体育大会下妻市実行委員会第4回総会(解散総会)開催

第74回国民体育大会下妻市実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、第74回国民体育大会下妻市実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第74回国民体育大会（以下「大会」という。）において、本市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に必要な準備を行うことを目的とする。

(所掌事項)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) 競技会の開催及び運営に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- (2) 競技会の開催及び運営に係る準備に関すること。
- (3) 競技会の開催に必要な施設及び設備に関すること。
- (4) 競技会の開催及び準備のための経費に関すること。
- (5) 関係競技団体その他の関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) 市民のスポーツ意識の高揚に関すること。
- (7) その他実行委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 関係競技団体その他の関係団体及び関係機関を代表する者
- (2) 市職員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第5条 実行委員会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 10名以内
- (3) 常任委員 30名以内
- (4) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長は、下妻市長をもって充てる。

2 副会長、常任委員及び監事は、総会の同意を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した順位により、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、実行委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属の団体又は機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞職したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。
- 3 会長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の総会において報告する。
- 4 委員等は、無報酬とする。

(顧問及び参与)

第9条 実行委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。
- 4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。
- 5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 実行委員会に、次の各号に掲げる会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

- 2 総会は、必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれに当たる。
- 4 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、議決する。
 - (1) 競技会の開催及び運営に係る基本方針に関すること。

- (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開催し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。
（常任委員会）
- 第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。
- 2 委員長は、会長をもって充てる。
 - 3 副委員長は、副会長のうちから会長が指名する。
 - 4 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
 - 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。
 - 6 委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 7 常任委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 専門委員会の設置及び専門委員会への付託に関すること。
 - (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。
 - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
 - 8 常任委員会は、前項第2号に規定する付託事項のうち、必要と認める事項については、専門委員会に委任することができる。
 - 9 常任委員会は、前2項の規定により審議決定した事項及び次条第3項の規定により専門委員から報告があった事項を、必要に応じて次の総会に報告するものとする。
 - 10 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会について準用する。
 - 11 第8条の規定は、常任委員会の任期等について準用する。
（専門委員会）
- 第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。
- 2 専門委員会は、常任委員会から付託された事項について調査し、及び審議し、その結果を常任委員会に報告しなければならない。
 - 3 専門委員会は、常任委員会から委任された事項について調査し、及び審議し、その結果を必要に応じて常任委員会に報告する。
 - 4 前3項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
 - 5 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

（会長の専決処分）

- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等に報告し、承認を得なければならない。

第5章 事務局

（事務局）

- 第15条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を大会主管課内に置く。
- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

（経費）

- 第16条 実行委員会の経費は、交付金及びその他の収入をもって充てる。
（予算及び決算）
- 第17条 実行委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。
（会計年度）
- 第18条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

（解散）

- 第19条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときは、総会の議決を経て解散するものとする。
- 2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

第8章 補則

（委任）

- 第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

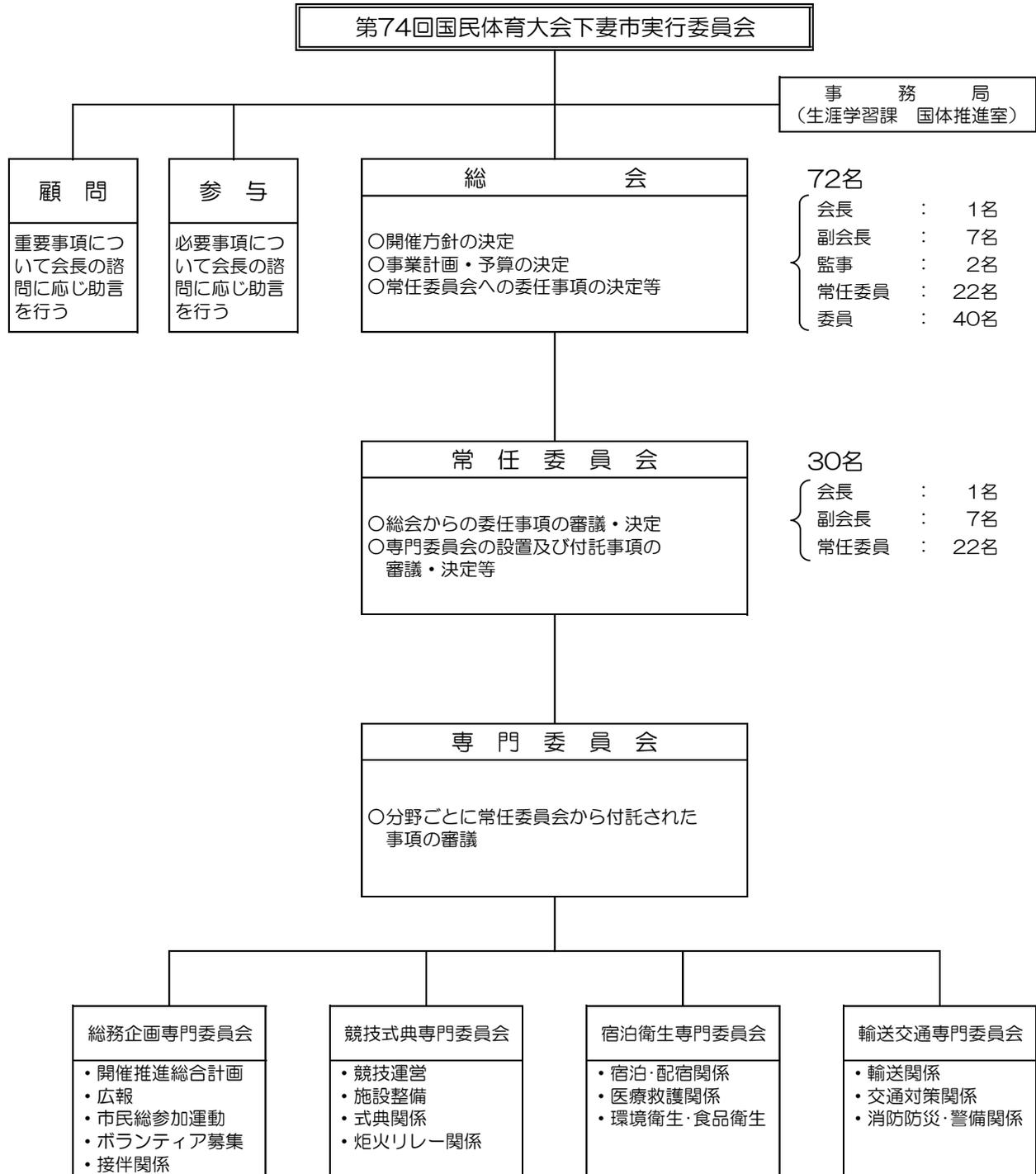
付 則（平成28年2月25日総会議決）

この会則は、平成28年2月25日から施行する。

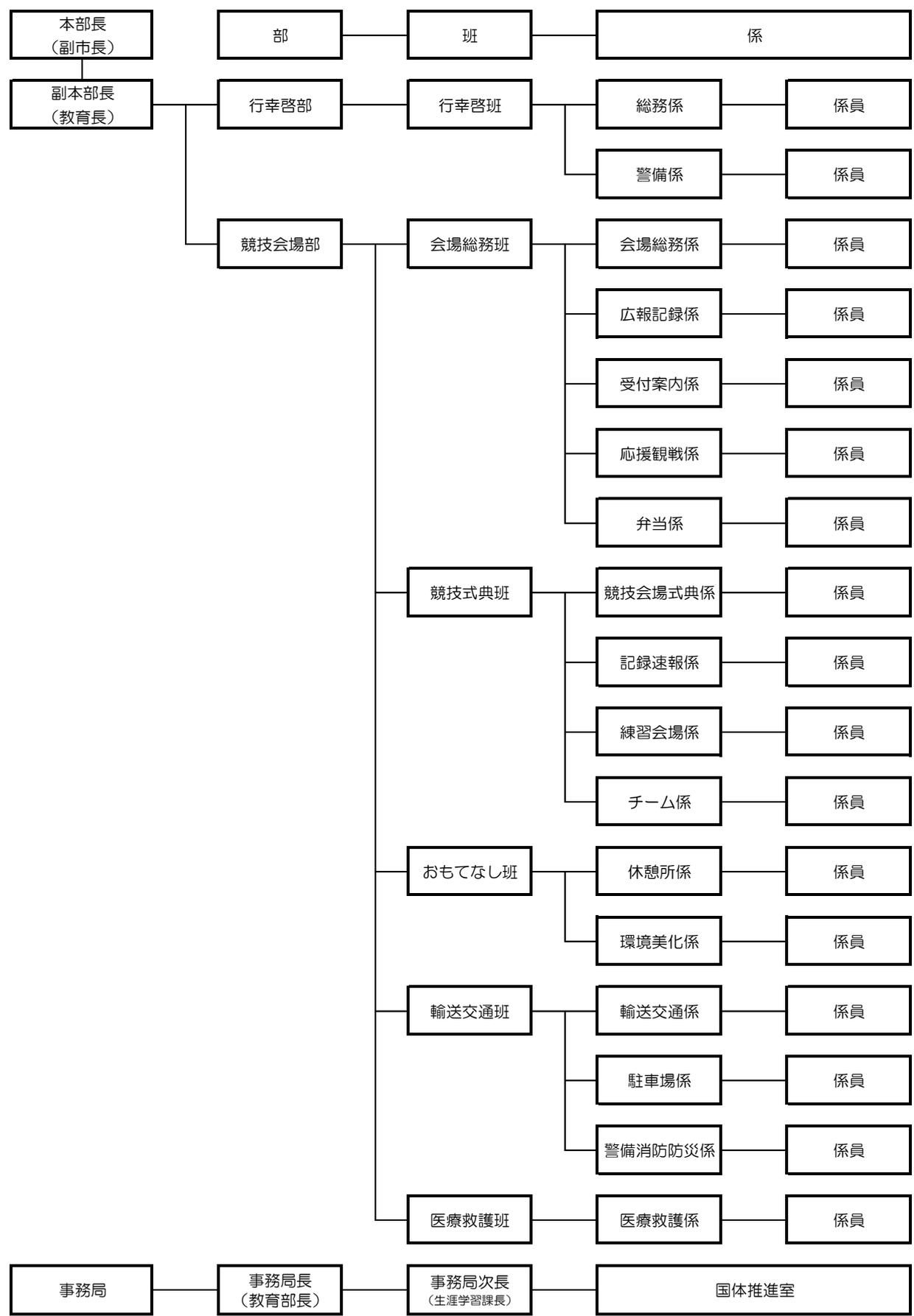
付 則

- 1 この会則は、平成29年5月16日から施行する。
- 2 この会則の施行日前に、現に第74回国民体育大会下妻市準備委員会の委員、役員、顧問、参与又は専門委員である者は、この会則の規定により委嘱されたものとみなす。

第74回国民体育大会下妻市実行委員会組織図



いきいき茨城ゆめ国体下妻市庁内実施本部組織図



運営費の推移

■歳入

(単位：円)

項	目	平成 28 年度 (3 年前)	平成 29 年度 (2 年前)	平成 30 年度 (1 年前)	令和元年度 (開催年)	平成 28 年度～ 令和元年度総計
		【決算額】	【決算額】	【決算額】	【決算見込】	【決算合計】 ※見込含む
負担金		1,950,000	4,149,000	49,782,000	75,330,000	131,211,000
	下妻市負担金	1,950,000	4,149,000	49,782,000	75,000,000	130,881,000
	競技団体負担金	0	0	0	330,000	330,000
繰越金	前年度繰越金	0	946,625	709,657	16,079,960	17,736,242
雑収入	雑収入	10	28	594,243	128,040	722,321
合計		1,950,010	5,095,653	51,085,900	91,538,000	149,669,563

■歳出

(単位：円)

項	目	平成 28 年度 (3 年前)	平成 29 年度 (2 年前)	平成 30 年度 (1 年前)	令和元年度 (開催年)	平成 28 年度～ 令和元年度総計
		【決算額】	【決算額】	【決算額】	【決算見込】	【決算合計】 ※見込含む
総務費		184,146	169,638	562,926	521,000	1,437,710
	会議費	27,648	76,606	54,038	150,000	308,292
	事務局費	156,498	93,032	508,888	371,000	1,129,418
開催推進費		819,239	4,216,358	3,443,109	390,000	8,868,706
	開催準備費	330,004	2,266,152	478,520	7,000	3,081,676
	広報啓発費	489,235	1,950,206	2,964,589	383,000	5,787,030
正式競技運営費		0	0	30,999,905	89,534,000	120,533,905
	ソフトボール競技会運営費	0	0	30,999,905	89,534,000	120,533,905
デモンストラシヨンスポーツ運営費		0	0	0	1,093,000	1,093,000
	E ポート競技会運営費	0	0	0	1,093,000	1,093,000
合計		1,003,385	4,385,996	35,005,940	91,538,000	131,933,321

広報 PR 活動一覧

多くの市民の皆さんに国体開催を知っていただくために、各種イベントや会議等に参加し、PR 活動を行いました。

■参加イベント一覧

年度	開催日	イベント名等	会場
H27	2月27日	国体会場地選手強化支援事業 「ソフトボール体験教室」	千代川運動公園野球場
H28	5月15日	第20回鬼怒川流域交流Eボート大会	鬼怒川大形橋上流左岸
		第25回花とふれあいまつり	鬼怒フラワーライン
	8月6日	第36回下妻まつり「千人おどり」	砂沼新田
	8月7日	第8回とばのえ子ども夏祭り	騰波ノ江小学校
	9月17日	市内小学校運動会	下妻・騰波ノ江・高道祖・宗道 小学校
	9月19日	みとオータムフェスティバル2016	ケーズデンキスタジアム水戸
	10月23日	下中フェスタ	下妻中学校
	11月5日	茨城を食べよう収穫祭2016	砂沼広域公園
	11月13日	国体会場地選手強化支援事業 「ソフトボール体験教室」	千代川運動公園野球場
	11月20日	第28回砂沼マラソン大会	砂沼広域公園
	1月3日	第46回新春歩け歩け大会	下妻市民文化会館
H29	4月29日	Waiwai ドームしもつまオープン記念イベント	Waiwai ドームしもつま
	4月30日	水戸ホーリーホックによる少年サッカー教室	Waiwai ドームしもつま
	5月21日	第21回鬼怒川流域交流Eボート大会	鬼怒川大形橋上流左岸
		第26回花とふれあいまつり	鬼怒フラワーライン
	5月27日	市内小学校運動会	大宝・大形小学校
	7月31日 ～8月1日	認知度向上PRキャンペーン	カスミフードスクエア下妻店
			カスミフードスクエア
			下妻ふるさわ店
			FOOD OFF ストッカー下妻東店
			FOOD OFF ストッカー千代川店
	8月5日	第37回下妻まつり「千人おどり」	砂沼新田
	9月26日	市内小学校運動会予行練習	総上小学校
	10月28日	大形ファミリーフェスタ	大形小学校
	11月19日	第29回砂沼マラソン大会	砂沼広域公園
11月25日	耐久茶屋～Force One Fourthの宴～	筑波サーキット	
12月2日	ふるさと学級	騰波ノ江小学校	
1月3日	第47回新春歩け歩け大会	Waiwai ドームしもつま	
1月16日	2018年下妻市新春の集い	八幡屋	

年度	開催日	イベント名等	会場
H29	2月17日	障がい者スポーツを通しての健康づくり交流会	総合体育館
	2月18日	第18回公民館まつり	千代川公民館
H30	5月3日 ～5日	ピアスパークしもつま春の感謝祭	ピアスパークしもつま
	5月20日	第22回鬼怒川流域交流Eボート大会	鬼怒川大形橋上流左岸
		第27回花とふれあいまつり	鬼怒フラワーライン
		500日前イベント「みんなdeスポーツ」	ひたちなか市笠松運動公園
	7月2日	国体授業 わたしたちの茨城国体～茨城国体サポーターになろう～	大宝小学校
	8月4日	Waiwai スポーツパーク 2018	Waiwai ドームしもつま
	9月9日	スポーツ少年団奉仕活動	千代川運動公園周辺
	9月30日	市内小学校運動会	大宝・大形小学校
	10月19日	国体授業 わたしたちの茨城国体～茨城国体サポーターになろう～	大宝小学校
	11月2日 ～4日	下妻市文化祭	総合体育館
	11月18日	第30回砂沼マラソン大会	砂沼広域公園
	11月24日	障がい者スポーツを通しての健康づくり交流会	総合体育館
	11月28日	持久走大会	総上小学校
	1月3日	第48回新春歩け歩け大会	Waiwai ドームしもつま
	1月16日	2019年下妻市新春の集い	八幡屋
	1月27日	ピックカメラ女子ソフトボール高崎ソフトボール教室	千代川運動公園野球場
	2月3日	節分祭	大宝八幡宮
	3月16日 ～3月17日	県西地区国体200日前イベント「みんなdeスポーツinイオンモール下妻」	イオンモール下妻
R1	5月19日	第74回国民体育大会	鬼怒川大形橋上流左岸
		デモンストレーションスポーツEボート	鬼怒フラワーライン
	5月24日	下妻市国体開催記念切手授与式	下妻市役所本庁舎
		いばラッキーラッピングポスト除幕式	下妻駅西口
8月8日 ～10月2日	国体前回大会思い出展・下妻市開催PR展	下妻市役所本庁舎	

■広報活動一覧

年度	開催日	団体名又は会議名	会場
H28	7月 7日	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ役員会	下妻市役所第二庁舎
	1月 14日	下妻市ソフトボール連盟役員会	下妻公民館
	2月 16日	鬼怒川流域交流E ボート大会実行委員会	下妻市役所千代川庁舎
H29	10月 26日	下妻市ボランティア監視員会議	下妻市役所本庁舎
	11月 1日	ぴあテニスクラブ	大宝公民館
	12月 3日	下妻市陶芸クラブ	大宝公民館
	12月 7日	社会教育指導員連絡会議	千代川公民館
	12月 16日	絵遊会	大宝公民館
	12月 28日	下妻地方広域シルバー人材センター奉仕作業	下妻地方広域 シルバー人材センター
	1月 7日	下妻婦人防火クラブ	常陸屋
	3月 4日	下妻市社会福祉協議会運営委員会	砂沼荘
	3月 22日	下妻市自治区長連合会理事会	下妻市役所第二庁舎
3月 23日	下妻市社会福祉協議会個人ボランティア説明会	砂沼荘	
H30	4月 15日	下妻市婦人会総会	下妻公民館
	4月 17日	下妻生活学校	下妻公民館
	4月 19日	下妻市自治区長連合会総会	下妻市役所第二庁舎
	4月 21日	下妻ボランティア連絡協議会総会	下妻公民館
	4月 25日	青少年を育てる下妻市民の会下妻支部総会	下妻公民館
	5月 1日	公民館連絡会議	千代川公民館
	5月 12日	青少年を育てる下妻市民の会上妻支部総会	上妻市民センター
		青少年を育てる下妻市民の会蚕飼支部総会	リフレこかい
	5月 13日	下妻婦人防火クラブ	下妻市役所第二庁舎
		青少年を育てる下妻市民の会総上支部総会	働く婦人の家
	5月 18日	青少年を育てる下妻市民の会宗道支部総会	千代川公民館
	5月 19日	青少年を育てる下妻市民の会大宝支部総会	大宝公民館
		青少年を育てる下妻市民の会騰波ノ江支部総会	騰波ノ江市民センター
		青少年を育てる下妻市民の会豊加美支部総会	豊加美市民センター
		青少年を育てる下妻市民の会高道祖支部総会	高道祖市民センター
	5月 27日	青少年を育てる下妻市民の会大形支部総会	千代川公民館
	6月 22日	下妻市スポーツ推進委員会定例会	常陸屋
7月 5日	下妻婦人防火クラブ役員会	下妻市役所第二庁舎	
7月 12日	やすらぎの里 農産物加工研究会	リフレこかい	
12月 19日	下妻市商工会役員会	下妻市商工会館	
1月 19日	下妻市ソフトボール連盟役員会	千代川公民館	
H31	4月 14日	下妻市婦人会総会	下妻公民館
R1	5月 12日	下妻婦人防火クラブ総会	下妻市役所第二庁舎

広報啓発物一覧

■平成 28 年度

月	製作物	製作数	用途
5	缶バッジ	300 個	各種イベント配布
	国体PRチラシ	2,000 部	各種イベント配布
7	国体PRポロシャツ	1,040 枚	一般販売、職員向販売等
12	国体PRジャンパー	12 枚	国体スタッフ着用（イベント用）
3	国体PR封筒	(角2) 2,500 部	市役所発送郵便使用
		(長3) 5,000 部	
3	ガラスフィルム	3組	庁舎入口貼り付け

■平成 29 年度

月	製作物	製作数	用途
5	カウントダウンボード	2 基	庁舎入口設置
	缶バッジ	1,000 個	各種イベント配布
10	車両貼付用マグネット	200 枚	市役所（公用車用）
11	軍手	1,000 双	各種イベント配布
	フェイスペイント	500 個	各種イベント配布
12	卓上ミニのぼり	200 本	庁内窓口、市内各校、大型店舗及び金融機関等配布
	ポケットティッシュ	5,000 個	各種イベント配布
1	ステッカーシール	5,000 枚	各種イベント配布
3	応援ペットボトルラベル	4,800 枚	応援ペットボトル作成用（市内小学校）
	国体PR横断幕	2 枚	歩道橋設置

■平成 30 年度

月	製作物	製作数	用途
4	国体PR名刺		市役所各課利用
	国体PR職員証		市役所各課利用
	国体マット	1 枚	庁舎入口設置
5	フェイスペイント	750 個	各種イベント配布
	缶バッジ	3,000 個	各種イベント配布
	広報啓発（協賛）のぼり	1,050 枚	市内公共施設及び協賛品として配布
7	歓迎のぼり旗	500 枚	イベント・大会歓迎装飾
	リハーサル大会ポスター	100 部	庁内窓口、市内各校、大型店舗及び金融機関等配布
8	リハーサル大会観戦チラシ	13,000 部	市広報誌へ折り込み配布
3	手作り応援のぼり旗	550 枚	大会装飾用(市内小中学校作成)

■令和元年度

月	製作物	製作数	用途
5	フェイスペイント	750 個	各種イベント配布
	国体下妻市開催記念切手	1,000 枚	郵便局販売
8	本大会ポスター	600 部	庁内窓口、市内各校、大型店舗及び金融機関、自治体等配布
9	本大会観戦チラシ	15,000 部	市内新聞朝刊折り込み等配布
	参加記念タオル	1,000 枚	地域応援団等配布
	協賛横断幕	4 枚	大会装飾

炬火イベント

いきいき茨城ゆめ国体総合開会式では、国体の象徴である炬火(オリンピックの聖火にあたるもの)が掲げられました。茨城県 44 市町村で、創意工夫をして採火された火が集められ「いきいき茨城ゆめの火」と命名されました。

■採火

下妻市では、下妻第一高等学校・下妻第二高等学校・下妻特別支援学校高等部の 3 校で、独自に考えた方法で採火を行いました。

令和元年 5 月 9 日(木)	下妻特別支援学校 (ジュール熱による炭素の燃焼)
令和元年 5 月 21 日(火)	下妻第二高等学校 (ナトリウムの化学反応による燃焼)
令和元年 5 月 24 日(金)	下妻第一高等学校 (高温過熱水蒸気による燃焼)

■炬火命名会議

令和元年 5 月 13 日(月)下妻特別支援学校において、採火を行った 3 校の代表生徒らによる炬火命名会議が行われました。話し合いの結果、下妻市の炬火名は『蝶！ 光かがやく 下妻ファイヤー』に決定しました。

■集火

令和元年 5 月 26 日(日)小貝川ふれあい公園において行われた「小貝川フラワーフェスティバル 2019」の中で集火式を開催しました。3校の火をトーチから炬火台にひとつに集め、下妻市の火が誕生しました。

集火式内容
1. 開式
2. 実行委員会会長挨拶
3. 集火者入場
4. 集火者(高校生)にインタビュー
5. 炬火台に集火
6. 炬火名発表
7. 各校に感謝状贈呈
8. 炬火をハクキンカイロへ保管
9. 閉式

大会ボランティア

- 1 募集期間 平成 29 年 9 月 4 日～平成 31 年 3 月 31 日
- 2 募集方法 広報しもつま掲載、実行委員会ホームページ掲載、リーフレット配布等
- 3 募集人数 150 名
- 4 応募人数 239 名
- 5 参加人数 186 名（実人数）

■ボランティア日別動員数

（単位：人）

会場	日程	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)	延べ人数
砂沼広域公園野球場		25	37	34	96
柳原球場		27	20	16	63
千代川運動公園野球場		22	40	39	101
千代川中学校グラウンド		11	7	6	24
合計		85	104	95	284

■ボランティア係別動員数

（単位：人）

会場	係名	受付案内	休憩所	弁当	環境美化	駐車場	応援観戦	延べ人数
砂沼広域公園野球場		8	16	5	34	0	33	96
柳原球場		7	16	5	20	1	14	63
千代川運動公園野球場		10	17	0	42	0	32	101
千代川中学校グラウンド		2	3	5	0	0	14	24
合計		27	52	15	96	1	93	284

■おもてなし研修会

県主催のおもてなし研修会を下妻市と合同で開催しました。

（1部は共通研修、2部は県・市に分かれて実施）

- ・開催日時 平成 31 年 2 月 17 日（日） 第 1 回 9:30～12:30 第 2 回 13:30～16:30
- ・開催場所 下妻公民館 大会議室
- ・参加人数 125 名
- ・実施内容
 - 〈1部〉いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会の概要説明
おもてなし研修
講師：スクールコミュニケーションサポート 齋藤 由起子氏
障害のある方への対応及び観光案内の仕方
 - 〈2部〉活動内容及び今後の予定

手づくり応援のぼり旗・応援メッセージボード

■手づくり応援のぼり旗

市内全小中学校及び下妻特別支援学校の児童生徒が作成した 47 都道府県の「手づくり応援のぼり旗」を競技会場に飾ると共に、出場チームにも贈呈しました。

学校名	作成数（枚）	学校名	作成数（枚）
下妻小学校	61	宗道小学校	37
大宝小学校	24	大形小学校	17
騰波ノ江小学校	16	下妻中学校	98
上妻小学校	37	東部中学校	73
総上小学校	16	千代川中学校	42
豊加美小学校	16	下妻特別支援学校	15
高道祖小学校	18		
合計 470 枚			

■応援メッセージボード

各種イベントで選手への応援メッセージを書いてもらい、各競技会場に飾りました。

実施日	参加イベント
平成 30 年 11 月	第 30 回砂沼マラソン
平成 31 年 1 月	第 48 回新春歩け歩け大会
令和元年 5 月	第 74 回国民体育大会デモンストレーションスポーツEポート

手づくり応援グッズ

■応援ペットボトル

市内全小学校の児童がメッセージを入れた応援ペットボトルを作成しました。競技会場では、観覧者がペットボトルを振りながら応援を盛り上げました。

学校名	作成数（本）	学校名	作成数（本）
下妻小学校	1,242	豊加美小学校	274
大宝小学校	450	高道祖小学校	398
騰波ノ江小学校	250	宗道小学校	674
上妻小学校	666	大形小学校	346
総上小学校	246		
合計 4,546 本			

■応援うちわ

大宝小学校の児童（平成 30 年度 4 年生）が手書きの応援うちわを 100 枚作成し、競技会場で来場者に配布されました。

花いっぱい運動

下妻市では、競技会場を飾る花々の育成を市内小中学校に依頼しました。国体開催2年前から試行栽培と試行飾花を行い、大会に備えました。また、県から配布された種子や資材を施設やイベントで配布し、国体開催をPRしました。

■スケジュール

実施時期	内 容	
平成 29 年	6月	試行栽培資材を各学校へ配布
	7月	県立真壁高校から花苗を引き取り、各学校へ配布
	10月	試行飾花（市内4会場）
平成 30 年	4月	コキアの種（45,000粒）を国体PRとして市民に配布
	5月	コスモスの種（7,000粒）をイベント時に配布
	6月	試行栽培資材を各学校へ配布
	7月	園芸種苗センター・県立真壁高校から花苗を引き取り、各学校へ配布
	10月	試行飾花（市内4会場）
令和元年	5月	資材を各学校へ配布
	6月	「花の応援団・メッセージ立て札」200枚を市民に配布
		園芸種苗センター・県立真壁高校から花苗を引き取り、各学校へ配布
	9月	本大会飾花（9月29日～10月1日 市内4会場）
10月	大会終了後、各学校にプランター返却	

■育成団体・プランター栽培依頼数

市内小中学校(12校)	栽培数
下妻小学校	85基
大宝小学校	55基
騰波ノ江小学校	50基
上妻小学校	70基
総上小学校	50基
豊加美小学校	55基
高道祖小学校	55基
宗道小学校	70基
大形小学校	55基
下妻中学校	85基
東部中学校	70基
千代川中学校	70基
合 計	770基

■花品種・花苗配布数

品 種	配布数
サルビア	2,848株
マリーゴールド	512株
合 計	3,360株

クリーンアップ運動

国体開催への機運醸成を図るため、市内全域での清掃活動やスポーツ少年団による奉仕活動を「いきいき茨城ゆめ国体クリーンアップ運動」として、大会開催 1 年前から実施しました。

■スケジュール

実施日	事業名	実施場所	参加者
平成 30 年 6 月 3 日(日)	第 37 回市民清掃デー	市内全域	下妻市民
平成 30 年 9 月 9 日(日)	スポーツ少年団奉仕活動	千代川運動公園	スポーツ少年団員・関係者
平成 31 年 3 月 10 日(日)	砂沼をきれいにする運動	砂沼広域公園	市職員・周辺住民
令和元年 6 月 2 日(日)	第 38 回市民清掃デー	市内全域	下妻市民

文化プログラム

第 74 回国民体育大会では、スポーツと併せて多くの県民が文化・芸術活動を通じて両大会に参加できる「文化プログラム」を実施しました。

文化プログラムとは国民体育大会の行事のひとつで、スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとしたプログラムを実施することにより大会を盛り上げ、併せて県民の文化・芸術活動等を通じ、茨城の魅力を全国に発信しようとするものです。

下妻市では以下の 5 つの催しが、文化プログラムとして承認されました。

開催期間	事業名	会場	内容
平成 31 年	1 月 3 日(木) 第 48 回 下妻市新春歩け歩け大会	Waiwai ドーム しもつま	Waiwai ドームしもつまから大宝八幡宮までの、約 8.8km のコースを歩くウォーキング大会。
	2 月 2 日(土) ～3 月 3 日(日) 企画展 「第 7 回ひなに魅せられて ～ひな人形の世界～」	下妻市ふるさと 博物館	「ひなまつり」の歴史を紹介しながら、古ひなや特色あるひなを展示。
令和元年	5 月 19 日(日) 第 28 回 花とふれあいまつり	鬼怒 フラワーライン	50 万本のポピーが咲く会場で、ステージ発表・地元物産品販売。
	9 月 28 日(土) ～11 月 17 日(日) 企画展 「日本芸術院会員 彫刻家・故市村緑郎展」	下妻市ふるさと 博物館	市村緑郎氏の代表作と平成 30 年に新たに寄贈された作品を展示。
	11 月 17 日(日) 第 31 回 砂沼マラソン大会	砂沼広域公園	茨城百景にも選ばれている砂沼の外周をコースとしたマラソン大会。小学 1 年生から 4 年生までを対象とした親子マラソンが好評。

学校観戦

全国トップレベルのプレーを観戦・応援し、「夢と感動」「努力することの大切さ」「人を応援する力の素晴らしさ」を学び、本市の教育目標である「学びを人生や社会に生かそうとする人材の育成」を図ることを目的に、市内小中学校（全 12 校）の児童生徒が観戦しました。

■学校観戦実績

実施日	競技会場	学校名	学年	観戦人数 ※1	移動手段
令和元年 9月30日(月)	砂沼広域公園 野球場	上妻小学校	6年	52人	バス2台
		下妻中学校	1年	219人	自転車
	柳原球場	大宝小学校	6年	48人	バス1台
		高道祖小学校	6年	41人	バス1台
	千代川運動公園 野球場	宗道小学校	6年	55人	徒歩
		千代川中学校	1年	93人	徒歩
	千代川中学校 グラウンド	大形小学校	6年	35人	バス1台
千代川中学校		2年	88人	徒歩	
令和元年 10月1日(火)	砂沼広域公園 野球場	下妻中学校	2年 3年	368人	自転車
		柳原球場	騰波ノ江小学校	6年	19人
	豊加美小学校		6年	29人	バス1台
	東部中学校		1年	104人	バス3台
	千代川運動公園野 球場	下妻小学校	6年	106人	バス3台
		千代川中学校	3年	85人	徒歩
	千代川中学校 グラウンド	総上小学校	6年	18人	※2
千代川中学校		全学年	268人	徒歩	
合 計				1,628人	バス13台

※1 引率教員の人数を含む

※2 下妻小学校のバスと乗合せで移動

地域応援

全国から出場するチームを観戦・応援し大会を盛り上げるとともに、地域が一体となり活動することによって交流・親睦を図り、国体終了後も地域のつながり・絆を深めることを目的に、青少年を育てる下妻市民の会各支部(全 10 支部)が「国体盛上げ応援団」を結成しました。

■地域応援実績

実施日	競技会場	市民の会 支部名	応援人数
令和元年 9月29日(日)	砂沼広域公園野球場	大宝支部	60人
		騰波ノ江支部	80人
		上妻支部	120人
	柳原球場	豊加美支部	160人
		高道祖支部	60人
	千代川運動公園野球場	下妻支部	60人
		大形支部	60人
		総上支部	50人
	千代川中学校グラウンド	蚕飼支部	70人
		宗道支部	50人
合 計			770人

応援団協力

茨城県立下妻第一高等学校の応援団「いおうおうえんだん爲櫻応援團」がソフトボール競技（少年男子・少年女子）茨城県代表を応援し、会場を盛り上げました。

■応援団協力実績

実施日	競技会場	種 別	対象試合
令和元年	9月29日(日)	少年男子	茨城県 — 新潟県
	9月30日(月)	少年女子	茨城県 — 福井県

協賛者一覧

■国体関連寄附金（敬称略）

No.	協賛者	協賛品等
1	京浜金属株式会社	寄附金（筑波銀行寄贈サービス付私募債）

■物品協賛（敬称略：順不同）

No.	協賛者	協賛品等
1	常総ひかり農業協同組合	梨 10kg38箱、梨ゼリー800個
2	株式会社ふれあい下妻（道の駅しもつま）	フラワースタンド 111基
3	大塚製菓株式会社	ポカリスエット 2ℓ222本、アイススラリー 288袋、紙コップ 11,000個
4	新井 淳一	横断幕（市協賛者紹介）4枚
5	株式会社伊藤園	健康ミネラル麦茶 600ml×480本
6	遠東石塚グリーンペット株式会社	リサイクルPET樹脂 100kg

■広告協賛（敬称略：順不同）

No.	協賛者	協賛品等
1	石塚産業株式会社	国体観戦チラシ印刷 13,420枚 （常陽銀行寄贈サービス付私募債）
2	関東鉄道株式会社	車両内中吊ポスター掲示（13車両、71日間）

■施設協賛（敬称略：順不同）

No.	協賛者	協賛品等
1	イオンリテール株式会社イオン下妻店	臨時駐車場用地の無償提供
2	株式会社全農ライフ茨城クミアイガスセンター下妻	
3	木村自動車有限会社	
4	下妻市商工会	
5	株式会社キダストアー	
6	江連八間土地改良区	
7	株式会社昭和ゴム化学	
8	株式会社筑波銀行下妻営業部	
9	鮎和	
10	須藤 久男	
11	公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会県西支部	
12	株式会社筑波セイコー	
13	岡崎 宏行	
14	居酒屋いまよし	
15	有限会社塚越設備	
16	匿名（1件）	

■労務協賛（敬称略：順不同）

No.	協賛者	協賛品等
1	下妻市建設業会	競技会場等のぼり旗設置・撤去、花プランター運搬
2	下妻市千代川建設業協会	

■のぼり旗協賛（敬称略：順不同）

No.	協賛者	協賛品等
1	上本部・本城地区商工親睦会	のぼり旗 70本
2	大町・下木戸地区商工振興会	のぼり旗 52本
3	上妻商店会	のぼり旗 50本
4	下妻市議会議員互助会	のぼり旗 40本
5	上町商店街協同組合	のぼり旗 40本
6	下妻市建設業会	のぼり旗 32本
7	砂沼通り商店会	のぼり旗 26本
8	西陣旭商工振興会	のぼり旗 25本
9	高道祖商工親睦会	のぼり旗 21本
10	下妻市千代川建設業協会	のぼり旗 20本
11	株式会社下妻建設	のぼり旗 20本

No.	協賛者	協賛品等
12	下妻市観光物産会	のぼり旗 16本
13	三道地商店会	のぼり旗 16本
14	長塚商店会	のぼり旗 15本
15	栗山商店会	のぼり旗 15本
16	鈴木鉄工建設株式会社	のぼり旗 10本
17	有限会社筑波テクナース	のぼり旗 10本
18	ファミリーマートしもつま鬼怒店	のぼり旗 10本
19	騰波ノ江地区商工共栄会	のぼり旗 10本
20	株式会社LIXIL 下妻工場	のぼり旗 6本
21	関東鉄道グループ	のぼり旗 5本
22	介護サービスセンターうらら	のぼり旗 5本
23	株式会社猪瀬フーズ	のぼり旗 5本
24	新井土木株式会社	のぼり旗 5本
25	株式会社赤塚土木興業	のぼり旗 5本
26	株式会社新みらい	のぼり旗 5本
27	株式会社ふれあい下妻（道の駅しもつま）	のぼり旗 5本
28	名倉建設株式会社	のぼり旗 5本
29	橋本屋燃料店	のぼり旗 5本
30	株式会社コンドー楽器	のぼり旗 3本
31	杉山 昌美	のぼり旗 3本
32	高橋設備	のぼり旗 3本
33	大和保育園	のぼり旗 3本
34	平和貨物運送株式会社	のぼり旗 3本
35	ハナワ物流株式会社	のぼり旗 3本
36	小沼鐵工株式会社	のぼり旗 2本
37	ミリオン電気株式会社	のぼり旗 2本
38	Beauty Garden hair&nail	のぼり旗 2本
39	クリーニング相田屋	のぼり旗 2本
40	石崎酒店	のぼり旗 2本
41	寺田 宏	のぼり旗 2本
42	MOTORRAD	のぼり旗 2本
43	株式会社JOA アカデミー日本語学院	のぼり旗 2本
44	飯島 和一	のぼり旗 2本
45	飯田石材店	のぼり旗 2本
46	下妻市商工会	のぼり旗 2本
47	株式会社白木屋カバン店	のぼり旗 2本
48	夢プロジェクトうらら	のぼり旗 2本
49	青柳 正美	のぼり旗 1本
50	大串 幸男	のぼり旗 1本
51	割烹おもだか	のぼり旗 1本
52	平塚 昌利	のぼり旗 1本
53	万清	のぼり旗 1本
54	初沢輪業	のぼり旗 1本
55	有限会社山本機械	のぼり旗 1本
56	千田 嘉弘	のぼり旗 1本
57	無双塾	のぼり旗 1本
58	有限会社大山スポーツ商会	のぼり旗 1本
59	そば処大むら	のぼり旗 1本
60	飯田 芳史	のぼり旗 1本
61	青木 明美	のぼり旗 1本
62	金子 幸之助	のぼり旗 1本
63	株式会社小林トーヨー住器	のぼり旗 1本
64	木村トラベル	のぼり旗 1本
65	野口商会	のぼり旗 1本
66	匿名（11件）	のぼり旗 19本
	合 計	のぼり旗 629本

売店・無料ドリンクコーナー・ふるまい・案内所

全国から訪れる選手・監督、一般観覧者や大会関係者の皆さんを、下妻市らしいおもてなしで温かくお迎えしました。売店では国体の記念にと、国体関連グッズ等のお土産を購入する来場者でにぎわいました。

■売店出店実績(令和元年9月29日～10月1日)

販売品目		会場	砂沼広域公園 野球場	柳原球場	千代川会場 ※
国体関連グッズ	出店者数		1	2	1
	ブース数		1	2	2
スポーツ用品	出店者数		1		1
	ブース数		2		2
観光物産品	出店者数				1
	ブース数				1
飲食物	出店者数		3	2	2
	ブース数		3	2	2
その他	出店者数			1	
	ブース数			1	
合 計	出店者数		5	5	5
	ブース数		6	5	7

※千代川会場は競技会場となっている千代川運動公園野球場及び千代川中学校グラウンド中間地点の道路上に売店を設置しました。

■無料ドリンクコーナー飲料使用実績(令和元年9月29日～10月1日)

品 名	使用数量(単位：本)
ポカリスエット 1.5ℓ	362
お〜いお茶 2ℓ	126
三ツ矢サイダー 1.5ℓ	263
信州あづみ野天然水 2ℓ	47
バヤリースオレンジ 1.5ℓ	156

■ふるまい実績(令和元年9月29日～9月30日)

会場	期日	内容	協力団体
砂沼広域公園 野球場	9月29日(日)	下妻の梨(300食) 梨ゼリー(200食) 梨のフィナンシェ(300個)	常総ひかり農業協同組合 下妻市果樹組合連合会 JOA 日本語学院
	9月30日(月)	下妻の梨(300食)	
柳原球場	9月29日(日)	下妻の梨(300食) 梨ゼリー(200食) ポークジャーキー(300食)	
	9月30日(月)	下妻の梨(300食)	
千代川会場 ※	9月29日(日)	下妻の梨(500食) 梨ゼリー(400食) 梨のフィナンシェ(300食)	
	9月30日(月)	下妻の梨(500食)	

※千代川会場は競技会場となっている千代川運動公園野球場及び千代川中学校グラウンド中間地点の道路上にふるまいコーナーを設置しました。

■総合案内所実績

開設場所	開設期間
下妻駅(関東鉄道常総線)	令和元年 9月29日(日)～10月1日(火)
宗道駅(関東鉄道常総線)	

歓迎装飾

全国各地から下妻市を訪れる選手・監督、大会関係者、一般観覧者等の多くの方々を温かくお迎えするため、競技会場及びその周辺に歓迎装飾を行いました。

■競技会場

装飾会場	のぼり旗	プリンター	横断幕	歓迎ポール	メッセージボード
砂沼広域公園野球場	193本	127基	2枚	1基	1枚
柳原球場	150本	80基	2枚	1基	1枚
千代川運動公園野球場	159本	107基	3枚	1基	1枚
千代川中学校グラウンド	116本	71基	2枚	1基	—
合計	618本	385基	9枚	4基	3枚

■競技会場周辺

装飾場所	のぼり旗
砂沼広域公園野球場周辺（沿道）	28本
砂沼広域公園駐車場（沿道及び駐車場内）	31本
柳原球場周辺（沿道）	62本
イオンモール下妻周辺（沿道）	26本
下妻市役所千代川庁舎・千代川運動公園周辺（沿道）	89本
下妻地方広域事務組合多目的第2グラウンド周辺（沿道）	18本
合計	254本

宿泊

選手・監督、役員等の宿泊確保及び調整については、茨城県実行委員会と各会場地市町村実行委員会及び旅行者で構成する国体宿泊センターを設置し、各宿泊施設のご協力のもと、宿泊業務を行いました。

選手・監督は筑波山の宿泊施設に、茨城県内及び県外から派遣された競技役員はピアスパークしもつまに宿泊して競技会に参加しました。

■日別宿泊人数

(単位：人)

種別名	宿泊 実人員	3日前	2日前	1日前	ソフトボール競技			宿泊 延べ人数
					1日目	2日目	3日目	
		9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	
選手・監督 (少年男子)	224	37	171	223	208	123	36	798
選手・監督 (少年女子)	228	13	154	226	195	120	17	725
競技役員(県内)	30			24	30	20		74
競技役員(県外)	9		1	9	7	7		24
合計	491	50	326	482	440	270	53	1,621

弁当

茨城県常総保健所の指導のもと、第74回国民体育大会下妻市弁当調達要項に定めた弁当調製施設の選定基準を満たす業者を選定し、安心・安全で美味しい弁当を調達しました。

また、幹旋弁当（選手・監督、視察員、報道員等用）及び支給弁当（スタッフ用）に使用する下妻市オリジナルデザインの弁当掛紙を作成し、賑やかさを演出しました。

■弁当調達実績

（単位：食）

会場		砂沼広域公園 野球場	柳原球場	千代川会場 ※	合計
9月29日(日)	幹旋弁当	58	0	110	168
	支給弁当	187	133	287	607
9月30日(月)	幹旋弁当	52	0	94	146
	支給弁当	167	126	288	581
10月1日(火)	幹旋弁当	21	19	18	58
	支給弁当	158	114	267	539
合計	幹旋弁当	131	19	222	372
	支給弁当	512	373	842	1,727

※千代川運動公園野球場と千代川中学校グラウンドは会場隣接により、弁当引換所を中間の千代川中学校駐車場に設け、千代川会場としてまとめて調達しています。

衛生

大会関係者が清潔な環境のもとで十分な活躍と快適な観覧ができるよう、競技会係員及び競技会補助員等による会場内の清掃を実施し、環境美化に努めました。

弁当引換所やふるまいコーナーでは衛生管理を徹底し、早めに食べるよう呼びかけると共に持ち帰りを禁止し、食中毒の防止に努めました。

トイレに関しては、既存の施設だけでは対応が難しい柳原球場及び千代川運動公園に仮設トイレを設置し、毎日汲取り清掃を実施しました。

■し尿処理実績

会場	数量（単位：ℓ）
柳原球場及び千代川運動公園 （9月29日～10月1日）	5,400

消防・警備

消防署と事前に仮設物等の設置状況（特に売店及び救護所）や緊急車両の進入経路を確認し、大会期間中は各競技会場の消防警備本部に消防署員2名が常駐して巡回警備を行うことにより、災害時の初動対応及び安全対策の充実を図りました。

駐車場に競技会係員を配置するとともに、業務委託により交通誘導及び雑踏警備に精通した警備員を配置し、また、シルバー人材センターに駐車場整理業務を委託しました。

夜間の火災・盗難を防止するため夜間警備を業務委託して事故防止に努め、また、防犯カメラ等を設置して盗難が生じた際の記録と予防に努めました。

■警備員等配置実績

（単位：人）

	9月29日(日)			9月30日(月)			10月1日(火)		
	警備員	シルバー人材	競技会係員	警備員	シルバー人材	競技会係員	警備員	シルバー人材	競技会係員
砂沼広域公園野球場	5	3	2	5	3	2	5	3	2
砂沼広域公園駐車場	1	4	3	1	4	3	1	2	3
柳原球場	6	3	1	5	3	1	5	3	1
千代川運動公園駐車場	0	3	4	0	3	4	0	2	4
千代川中学校駐車場	2	3	2	2	3	2	2	1	2
千代川庁舎駐車場	0	4	5	0	4	5	0	3	5
旧千代川中学校	0	0	2	0	0	2	0	0	2
多目的第2グラウンド	0	0	1	0	0	1	0	0	1
合計 (種別毎)	14	20	20	13	20	20	13	14	20
合計 (日毎)	54			53			47		

※ 夜間警備は9月26日夜から10月1日朝まで、毎夜各会場1人（延べ20人）を配置しました。

輸送交通

一般観覧者については、シャトルバスによる会場への輸送を実施しました。また、希望するチームについてはバスにより輸送しました。

駐車場については、会場近隣の民間事業者等にもご協力いただきながら、臨時駐車場の確保に努めました。

■バス利用実績

(単位：台)

		一般観覧者 シャトルバス	学校応援	選手・監督	合計
9月27日(金) 公式練習1日目	大型				0
	乗合				0
	中型			1	1
	小型			1	1
9月28日(土) 公式練習2日目	大型				0
	乗合				0
	中型				0
	小型			4	4
9月29日(日) ソフトボール競技 1日目	大型	4			4
	乗合	9			9
	中型			3	3
	小型			2	2
9月30日(月) ソフトボール競技 2日目	大型	3	4		7
	乗合	6			6
	中型			3	3
	小型		1		1
10月1日(火) ソフトボール競技 3日目	大型	2	7		9
	乗合	6			6
	中型				0
	小型	1	1	1	3
合計		31	13	15	59

■砂沼広域公園野球場駐車台数 (少年男子)

(単位：台)

	駐車場名	9月29日(日)		9月30日(月)		10月1日(火)	
		乗用車	バス	乗用車	バス	乗用車	バス
1	砂沼球場駐車場	36	5	36	3	37	4
2	木村自動車敷地	42	0	49	0	28	0
3	クミアイガスセンター敷地	10	0	10	0	20	0
4	砂沼広域公園駐車場	245	2	87	2	51	0
5	宅建協会県西支部敷地	15	0	15	0	15	0
6	鮪和・塚越設備敷地	20	0	20	0	20	0
	合計	368	7	217	5	171	4

■柳原球場駐車台数（少年男子）

（単位：台）

	駐車場名	9月29日(日)		9月30日(月)		10月1日(火)	
		乗用車	バス	乗用車	バス	乗用車	バス
1	柳原球場駐車場	75	0	75	0	44	0
2	柳原球場テニスコート駐車場	15	4	15	6	18	7
3	柳原球場西側駐車場	13	0	12	0	16	0
4	イオンモール下妻駐車場	140	0	50	0	20	0
	合計	243	4	152	6	98	7

■千代川会場駐車台数（少年女子）

（単位：台）

	駐車場名	9月29日(日)		9月30日(月)		10月1日(火)	
		乗用車	バス	乗用車	バス	乗用車	バス
1	千代川中学校駐車場	28	0	19	0	19	0
2	千代川中学校駐車場（チーム用）	15	11	24	8	13	4
3	道路占用部分（会場隣接地）	33	0	34	0	34	0
4	千代川運動公園駐車場	116	0	134	0	127	0
5	市役所千代川庁舎・公民館駐車場	139	0	102	0	29	0
6	市役所千代川庁舎東側民有地	45	0	47	0	6	0
7	旧千代川中学校敷地	80	1	50	0	0	0
8	旧キダストアー駐車場	20	0	20	0	20	0
9	広域事務組合多目的第2グラウンド	7	6	3	4	0	0
10	江連八間土地改良区駐車場	20	0	20	0	20	0
	合計	503	18	453	12	268	4

医療救護

各競技会場に救護所を設置し、選手、大会関係者、一般観覧者等の傷病者発生時に備えました。救護所には保健師を配置し、応急手当や医療機関・救護所利用者等との連絡業務に従事していただきました。

■救護所利用実績

（単位：人）

会場	選手	役員	観客	その他	症状
砂沼広域公園野球場	2	1			打撲 1 その他 2
柳原球場			1		感冒 1
千代川運動公園野球場			2	2	熱中症 1 創傷 3
千代川中学校グラウンド			1		胃腸障害 1
合計	2	1	4	2	9

競技補助員協力校

大会期間中、競技補助員として市内の高校生にご協力いただきました。競技会場のグラウンド整備や場内アナウンス、記録及び式典の補助など競技役員とともに競技運営を支えていただきました。

■競技補助員協力校

茨城県立下妻第一高等学校 61人(実人数)

茨城県立下妻第二高等学校 38人(実人数)

■活動実績

(単位：人)

係名	会場名	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)	延べ人数
球場委員補助	砂沼広域公園野球場	11	11	11	33
	柳原球場	13	13	13	39
	千代川運動公園野球場	16	16	16	48
	千代川中学校グラウンド	16	16	16	48
合計		56	56	56	168

係名	会場名	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)	延べ人数
放送委員補助	砂沼広域公園野球場	2	2	2	6
	柳原球場	2	2	2	6
	千代川運動公園野球場	2	2	2	6
	千代川中学校グラウンド	2	2	2	6
合計		8	8	8	24

係名	会場名	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)	延べ人数
記録員補助兼 式典委員補助	砂沼広域公園野球場	10	10	10	30
	柳原球場	4	5	5	14
	千代川運動公園野球場	7	9	9	25
	千代川中学校グラウンド	10	11	11	32
合計		31	35	35	101

総合成績表

■男女総合（天皇杯）

順位	都道府県名	得点
1位	茨城県	2,569
2位	東京都	2,217
3位	愛知県	1,789
4位	埼玉県	1,735
5位	神奈川県	1,643.5
6位	大阪府	1,552
7位	千葉県	1,470.5
8位	京都府	1,410
9位	北海道	1,397.5
10位	福井県	1,391
11位	福岡県	1,337.5
12位	岡山県	1,267
13位	兵庫県	1,184.5
14位	三重県	1,181.5
15位	鹿児島県	1,151
16位	長野県	1,090
17位	静岡県	1,083.5
18位	栃木県	1,075.5
19位	岐阜県	1,060
20位	広島県	1,044.5
21位	愛媛県	1,021.5
22位	和歌山県	997
23位	大分県	921.5
24位	山口県	908
25位	香川県	906
26位	長崎県	903
27位	奈良県	899.5
28位	宮城県	882.5
29位	熊本県	879
30位	滋賀県	870.5
31位	岩手県	850
32位	山形県	848
33位	佐賀県	830.5
34位	新潟県	826.5
35位	石川県	816.5
36位	富山県	815.5
37位	山梨県	809
38位	群馬県	789.5
39位	福島県	783.5
40位	島根県	725
41位	宮崎県	718
42位	沖縄県	715.5
43位	鳥取県	714
44位	秋田県	707.5
45位	青森県	694
46位	高知県	630
47位	徳島県	614

■女子総合（皇后杯）

順位	都道府県名	得点
1位	茨城県	1,331
2位	東京都	1,286.5
3位	愛知県	1,043.5
4位	埼玉県	997.5
5位	大阪府	926
6位	京都府	807.5
7位	千葉県	801.5
8位	兵庫県	787
9位	神奈川県	771
10位	福岡県	759.5
11位	福井県	746.5
12位	鹿児島県	683.5
13位	愛媛県	666
14位	長野県	655.5
15位	岡山県	647
15位	広島県	647
17位	北海道	636
18位	岐阜県	633.5
19位	静岡県	623
20位	三重県	619
21位	群馬県	583.5
22位	石川県	573.5
23位	山形県	568
24位	大分県	558
25位	長崎県	554.5
26位	栃木県	551
27位	鳥取県	543
28位	滋賀県	518.5
29位	和歌山県	515.5
30位	佐賀県	514.5
31位	岩手県	507.5
32位	富山県	506.5
33位	山口県	497.5
34位	熊本県	489
35位	山梨県	484.5
36位	福島県	484
37位	青森県	471
38位	宮城県	469.5
39位	香川県	459
40位	奈良県	458.5
41位	新潟県	457
42位	宮崎県	442.5
43位	秋田県	433
44位	島根県	426
45位	徳島県	419.5
46位	沖縄県	418
47位	高知県	369

競技会場及び日程・来場者数一覧

■競技会場及び日程

ソフトボール（正式競技）

種別	会場名	日程
少年男子	砂沼広域公園野球場	令和元年9月29日(日)～10月1日(火)
	柳原球場	
少年女子	千代川運動公園野球場	
	千代川中学校グラウンド	

Eポート（デモンストレーションスポーツ）

種別	会場名	日程
一般の部	鬼怒川大形橋上流左岸	令和元年5月19日(日)
小学生の部		

■来場者数一覧

ソフトボール（正式競技）

（単位：人）

選手・監督	大会関係者							観覧者	合計
	競技会 役員	競技 役員	競技 補助員	競技会 係員	競技会 補助員	その他 関係者	小計		
644	120	330	293	508	308	802	2,361	8,293	11,298

Eポート（デモンストレーションスポーツ）

（単位：人）

選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
473	111	13,000	13,584

お成り

三笠宮彬子女王殿下が下妻市を御訪問され、千代川運動公園野球場において少年女子のソフトボール競技を御覧になられました。

■御日程

御訪問日	御着・御発時間	御訪問施設	御訪問内容
9月30日(月)	9:25 ～ 10:00	千代川運動公園野球場	ソフトボール競技御覧
	10:05 ～ 10:25	千代川公民館	御休憩

競技御説明者 公益財団法人日本ソフトボール協会副会長 高橋 清生

陪席者	下妻市長	菊池 博
	下妻市議会議長	原部 司
	下妻市副市長	齋藤 章
	茨城県ソフトボール協会会長	岸根 壽英

ソフトボール競技実施要項

1 期 日 2019年9月29日(日)から10月1日(火)まで(3日間)

種 別	9月29日(日)	9月30日(月)	10月1日(火)
成年男子	1回戦	準々決勝	準決勝・決勝
成年女子	1回戦	準々決勝	準決勝・決勝
少年男子	1回戦	準々決勝	準決勝・決勝
少年女子	1回戦	準々決勝	準決勝・決勝

2 会 場

常陸太田市(成年男子)	白羽スポーツ広場多目的スポーツ広場(A) 白羽スポーツ広場多目的スポーツ広場(B)
(成年女子)	山吹運動公園野球場(C) 山吹運動公園運動広場(D)
下妻市(少年男子)	砂沼広域公園野球場(E) 柳原球場(F)
(少年女子)	千代川運動公園野球場(G) 市立千代川中学校グラウンド(H)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チ-ム数	小 計	合 計(人)
成年男子	1	12	13	169	715
成年女子	1	13	13	182	
少年男子	1	13	13	182	
少年女子	1	13	13	182	

4 競技上の規定及び方法

- (1) 競技規則は、「2019年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール」を適用する。ただし、特別事項は、監督会議で決める。
- (2) 試合方法は、トーナメント方式による。ただし、3位決定戦は行わない。
- (3) 5回以降7点以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。

5 予選方法

- (1) 都道府県大会は、各都道府県において細目を決めて実施し、ブロック大会代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会は、各ブロックにおいて実施し、本大会代表チームを決定する。実施要項は、そのブロック内で協議のうえ作成する。
- (3) 各ブロック代表の理事は、ブロック大会終了後、直ちにブロック大会参加チーム名及び成績を公益財団法人日本ソフトボール協会宛に報告すること。

(4) ブロック大会区分及び各種別の代表チーム数は、次の表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1	1	2	2
関東	栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	1	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	1	1
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1	1
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	1	1
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	2	1
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	2	2
開催県	茨城	1	1	1	1
計		13	13	13	13

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督が選手を兼ねるときは、選手登録をしなければならない。
- (2) 本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトボールコーチ1、公認ソフトボールコーチ2、公認ソフトボールコーチ3、公認ソフトボールコーチ4のいずれかの有資格者でなければならない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも1位64点、2位56点、3位（2チーム）各44点、5位（4チーム）各20点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位（4チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2019年9月4日(水)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込締切後の選手変更は、疾病、傷害、転勤等の特別な場合のみ認めるものとし、その取扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期日 監督会議前日まで

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
Japan Sport Olympic Square 10階
公益財団法人日本ソフトボール協会
TEL 03-5843-0480 FAX 03-5843-0485
- (イ) 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6
いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会事務局
(茨城県国体・障害者スポーツ大会局競技式典課競技運営グループ)
TEL 029-301-5375 FAX 029-301-5398
- (ウ) (成年男子・成年女子)
〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690番地
第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会
常陸太田市実行委員会事務局(常陸太田市役所企画部国体推進室内)
TEL 0294-72-3111 FAX 0294-85-6901
- (エ) (少年男子・少年女子)
〒304-8555 茨城県下妻市鬼怒230番地
第74回国民体育大会下妻市実行委員会事務局
(下妻市教育委員会生涯学習課国体推進室内)
TEL 0296-43-2111 FAX 0296-43-3519

※なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) ユニフォームナンバーは1～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番とし、背番号の大きさは、15cm以上で統一されたものであること。また、ユニフォーム上衣の胸下に背番号と同番号を付けること。大きさは、6cm以上12cm以内とする。
- (2) 競技に際しては、都道府県のみを明記したユニフォームを着用しなければならない。
- (3) チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。
- (4) 監督会議の出席に際しては、競技用ユニフォームを着用すること。
- (5) 会場において配宿する人員は、エントリー数以外は認めない。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2019年9月7日(土)午後1時
場 所 Japan Sport Olympic Square 12階 中会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
Japan Sport Olympic Square

(2) 監督会議

(成年男子・成年女子)

日 時 2019年9月28日(土)午後1時30分
場 所 常陸太田市民交流センター (パーティホール)
〒313-0061 茨城県常陸太田市中城町3210番地
TEL 0294-73-1234 FAX 0294-73-1233

(少年男子・少年女子)

日 時 2019年9月28日(土)午後1時30分
場 所 下妻公民館
〒304-0064 茨城県下妻市本城町三丁目36番地1
TEL 0296-43-7370

(3) 審判・記録員会議

(成年男子・成年女子)

日 時 2019年9月28日(土)午後2時30分
場 所 常陸太田市民交流センター
〒313-0061 茨城県常陸太田市中城町3210番地
TEL 0294-73-1234 FAX 0294-73-1233

(少年男子・少年女子)

日 時 2019年9月28日(土)午後2時30分
場 所 下妻公民館
〒304-0064 茨城県下妻市本城町三丁目36番地1
TEL 0296-43-7370

(4) 表彰式

日 時 2019年10月1日(火)各種別決勝戦終了後
場 所 (成年男子) 白羽スポーツ広場多目的スポーツ広場 (A)
(総合及び成年女子) 山吹運動公園野球場 (C)
(少年男子) 砂沼広域公園野球場 (E)
(少年女子) 千代川運動公園野球場 (G)

ソフトボール競技トーナメント表

■少年男子

E：砂沼広域公園野球場 F：柳原球場

都道府県名	日程		10月1日(火)				日程		都道府県名
	9月29日(日)	9月30日(月)	準決勝	決勝	準決勝	9月30日(月)	9月29日(日)		
宮城県		6				1		愛知県	
茨城県	8	E-1	1	高知県 9年ぶり11回目	4	F-1	6	高知県	
新潟県	E-1	2				3	F-1	0	福島県
長崎県	5		F-1	3	4	E-1			
埼玉県	E-2	2		E-2			1	大阪府	
北海道	2	E-2	3			2	F-2	岡山県	
広島県	0				2	F-2	2	沖縄県	
	E-3	0				1			
	10								

■少年女子

G：千代川運動公園野球場 H：市立千代川中学校グラウンド

都道府県名	日程		10月1日(火)				日程		都道府県名
	9月29日(日)	9月30日(月)	準決勝	決勝	準決勝	9月30日(月)	9月29日(日)		
広島県		1				0		茨城県	
長崎県	9	G-1	1	長崎県 2年ぶり3回目	1	H-1	1	福島県	
宮城県	G-1	2				4	H-1	2	福井県
大阪府	1		H-1	1	0	G-1			
愛媛県	2			G-2			3	山梨県	
北海道	G-2	1				3	H-2	鹿児島県	
三重県	3	G-2	0			0	H-2	4	
	0					4		神奈川県	
	G-3	0							
	6								

ソフトボール競技成績表

■少年男子

順位	都道府県名
1位	高知県
2位	長崎県
3位	宮城県
3位	岡山県
5位	茨城県
5位	愛知県
5位	広島県
5位	沖縄県

■少年女子

順位	都道府県
1位	長崎県
2位	福井県
3位	神奈川県
3位	愛媛県
5位	茨城県
5位	三重県
5位	広島県
5位	鹿児島県

■競技別男女総合（天皇杯）

順位	都道府県名	得点
1位	長崎県	194
2位	愛知県	130
3位	栃木県	110
4位	岡山県	98
5位	茨城県	90
6位	福井県	86
7位	群馬県	74
7位	愛媛県	74
7位	高知県	74

■競技別女子総合（皇后杯）

順位	都道府県	得点
1位	福井県	86
2位	群馬県	74
2位	長崎県	74
4位	愛知県	66
5位	栃木県	54
5位	神奈川県	54
5位	京都府	54
5位	愛媛県	54
9位	茨城県	50

E ボート競技実施要項

1 期 日 2019年5月19日(日)※小雨決行 ※予備日5月26日(日)

受付 8時00分

開始式 9時00分

競技開始 9時45分

表彰式 14時30分

2 会 場 下妻市 鬼怒川大形橋上流左岸

3 種別及び参加人員

種 別	鼓手	舵取	漕手	交代選手	小計(人)	チーム数	合計(人)
一般の部	1	1	8	2名以内	1チーム	40	480
小学生の部					10~12		

※小学生の部の鼓手と舵取りは成人者とする。

4 競技上の規程及び方法

《予選》

- (1) 各種別ともボート2艇によるタイムトライアル方式でレースするものとし、距離は150mのUターン方式とする。
- (2) 各チーム予選2レースを行い、速いタイムをチーム記録として予選順位を決定する。なお、同タイムの場合は、2レースの合計タイムにて予選順位を確定することとする。
- (3) スタートは、係員の合図にて「用意」、ホーンの音でスタートする。係員がスタートを不完全と認めた場合は、ホーンを連発して直ちにレースを中断させる。
- (4) ゴールラインは、2個のブイにより設定される。この2個のブイの間をボートの先端が通過した時点でゴールとする。
- (5) Uターンの際、ブイのターンは左側から時計まわりで行うものとする。また、自チームのコースに対応したブイをターンするものとする。ブイの右側から反時計まわりでターンを行った場合及び自チームに対応していないブイをターンした場合は、その時点で危険行為により失格(記録なし)とする。
- (6) 一般の部はハンデ戦とし、ハンデは男女混合チームと中学生チームはマイナス20秒、女性だけのチームはマイナス30秒とする。
- (7) ハンデ適用は参加申込書で事前申告したチームを対象とし、大会当日のハンデ申請、ハンデ変更はいかなる場合も認めない。また事前申告したチームであっても、レース前に係員が確認した際に、ハンデの条件を満たしていない場合はハンデを適用しない。
- (8) レースタイムが5分を超えた場合、タイムオーバーの失格とする。また大会の円滑な運営のため、失格チームについては収容する。

《決勝》

- (1) 各種別の上位チームで決勝を行い、決勝レースにて最終順位を決定する。ただし、参加チームが4チームに満たない種別は、決勝出場チームを4チーム未満とする場合がある。
- (2) 各種別とも決勝レースは4艇でレースするものとし、距離は150mのUターン方式とする。参加チームが4チームに満たない場合は、4艇未満で決勝レースを行う場合がある。
- (3) 《予選》の(3)~(7)については、決勝においても同様とする。

5 選考方法

- (1) 参加申込みは先着順を原則とし、一般の部と小学生の部のトータル40チームを上限とする。また申込受付については、小学生の部を優先する場合がある。
- (2) 一般の部のハンデ適用となる男女混合チームは、女性5名以上とし、レース時に女性5名以上の乗船を条件とする。
- (3) 一般の部のハンデ適用となる中学生チームは、漕手の全員（8名）と交代選手の全員（2名以内）を中学生とし、鼓手（1名）と舵取（1名）は成人者可とする。
- (4) 小学生の部は、漕手の全員（8名）と交代選手の全員（2名以内）を小学生とし、鼓手（1名）と舵取（1名）は成人者とする。

6 参加資格

- (1) 原則として茨城県に居住する者。
- (2) 参加者は小学4年生以上とする。
- (3) その他「鬼怒川流域交流Eボート大会実行委員会」の認める者。
- (4) 未成年者が参加する場合は、所定の「参加同意書」に必要事項を記入の上、「参加申込書」と併せて、申込先に郵送するか、直接窓口まで申し込むこと。

7 表彰

- (1) 各種別の第1位から第4位までのチームに賞状を授与する。
- (2) 予選レース及び決勝レースにおいて最速のタイムを記録したチームには、ベストスピード賞を授与する。
- (3) 参加者全員に大会参加記念章を授与する。

8 参加申込み方法

- (1) 所定の「参加申込書」及び「参加同意書」（未成年者が参加する場合のみ）に必要事項を記入の上、下記宛に持参又は郵送で提出すること。

申 込 先	宛 先	提出部数
鬼怒川流域交流Eボート大会 実行委員会事務局 (下妻市役所千代川庁舎商工観光課内)	〒304-8555 茨城県下妻市鬼怒 230 番地 TEL 0296-44-0732(ダイヤルイン) FAX 0296-44-6004	1部

- (2) 2019年3月11日(月)から受付を開始する。
- (3) 申込期限は2019年4月12日(金)必着とする。
但し、小学生の部の申込期限は2019年4月17日(水)まで延長できるものとする。

9 参加負担金

- (1) 1チーム：10,000円（小中学生チーム無料）
- (2) 参加負担金を現金で納入する場合、下妻市役所千代川庁舎商工観光課内「鬼怒川流域交流Eボート大会実行委員会事務局」へ持参すること。
- (3) 参加負担金を振込で納入する場合、下記口座へ振込むこと。また、振込手数料については参加者の負担とする。

銀行名	口座番号	口座名義
常陽銀行 下妻支店	普通 1441121	鬼怒川流域交流Eボート大会

10 参加上の注意

- (1) 大会事務局は大会参加者の傷害保険に一括加入する。
- (2) Eボート、ライフジャケット、パドルについては大会事務局が用意する。
- (3) 大会事務局は参加チームごとにテント（2間×3間）を用意する。
- (4) 競技参加者は、ライフジャケットを必ず着用し、指定されたパドルを使用することとし、マイパドルの使用は禁止する。
- (5) チーム内でEボートでの乗船ポジションをあらかじめ決めておくこと。
- (6) 乗船・降船は一人ずつ係員の指示に従って行うこと。
- (7) 飲酒を行った競技者の競技参加は不可とする。アルコール検知器等により飲酒が確認された場合、失格とする。

11 個人情報の取り扱いについて

参加申込書（参加同意書含む）に記載された個人情報については、以下のいきいき茨城ゆめ国体に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) いきいき茨城ゆめ国体参加意思及び参加人数の確認
- (2) 競技参加資格の確認（年齢、性別、所属、保護者の同意など）
- (3) 参加案内等の送付
- (4) 競技別プログラムの作成
- (5) 賞状等の筆耕
- (6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

12 その他

- (1) 代表者会議（一般の部、小学生の部）
日 時 2019年4月25日(木) 午後7時
場 所 下妻市役所千代川庁舎
- (2) 練習会
日 時 2019年5月18日(土) 午後1時～午後3時
場 所 下妻市鬼怒川大形橋上流左岸
- (3) ごみは各自持ち帰りとする。
- (4) 当日は参加記念品として、同会場実施の「花とふれあいまつり」で使用する「花の株券」を各チーム10枚配布する。
※「花の株券」は1枚で「花とふれあいまつり」で提供される焼きそばやバーベキュー等から任意で2点と交換でき、抽選会で1回抽選することができる。
- (5) 雨天時の開催判定は、当日午前6時に主催者が判断する。参加者各自で下記問合せ先に確認すること。
当日の問合せ先：鬼怒川流域交流Eボート大会実行委員会 TEL：090-2556-9623

E ボート競技成績表

■一般の部

順位	チーム名	実測タイム	ハンデ		ハンデ含 タイム
1	チーム速波 STAR	2分41秒59	男女混合	▲20秒	2分21秒59
2	株式会社リステップ	2分29秒72	—	—	2分29秒72
3	チーム速波 YELL	2分53秒18	男女混合	▲20秒	2分33秒18
4	日本トレセン	2分33秒76	—	—	2分33秒76

■小学生の部

順位	チーム名	実測タイム
1	チーム すがはら	2分50秒27
2	なかよし宗道キッズ	3分01秒72
3	Jet Smile	3分04秒28
4	チーム すがはらⅡ	3分05秒04

■ベストスピード賞

チーム名	実測タイム
株式会社リステップ	2分27秒61

実行委員会名簿

【順不同・敬称略】

(令和元年9月28日現在)

会 長

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市長	菊池 博

副 会 長

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市議会議長	原部 司
下妻市副市長	齋藤 章
下妻市教育長	横瀬 晴夫
下妻市体育協会会長	三浦 仁
下妻市商工会会長	小林 重隆
下妻市観光協会会長	木村 進
下妻市ソフトボール連盟会長	高村 恵多

常任委員

所属機関・団体・役職名	氏名
茨城県常総保健所長	本多 めぐみ
下妻警察署長	富澤 実
下妻消防署長	外山 繁
下妻市校長会会長	猪野木 雅明
茨城県ソフトボール協会理事長	大久保 進司
茨城県ソフトボール協会事務局長	吉田 陵平
鬼怒川流域交流Eポート大会実行委員会委員長	飯島 和一
株式会社ふれあい下妻総務部長	大塚 富美男
常総ひかり農業協同組合代表理事組合長	塚本 治男
茨城県ハイヤー・タクシー協会県西支部下妻部会長	黒須 英夫
眞壁医師会下妻支部支部長	中山 公彦
下妻市自治区長連合会会長	田崎 光男
下妻市ふるさとづくり推進協議会会長	飯塚 武彦
前下妻市教育長	青柳 正美
下妻市市長公室長	大月 義男
下妻市総務部長	飯塚 誠一
下妻市市民部長	杉山 照夫
下妻市保健福祉部長	寺田 武司
下妻市経済部長	鈴木 伸一
下妻市建設部長	渡辺 尚
下妻市議会事務局長	飯村 孝夫
下妻地方広域事務組合事務局長	平井 英雄

監 事

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市代表監査委員	館野 孝男
下妻市会計管理者	塚越 剛

顧問

所属機関・団体・役職名	氏名
茨城県議会議員	飯塚 秋男

参与

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市教育委員会教育長職務代理者	齊藤 修一
下妻市教育委員会委員	青木 明美
下妻市教育委員会委員	赤荻 由美
下妻市教育委員会委員	平間 守
日本放送協会 水戸放送局長	中原 常雄
株式会社茨城放送 代表取締役社長	北島 重司
つくばコミュニティ放送株式会社 代表取締役	堀越 智也
株式会社茨城新聞社 筑西支社長	飯村 雅明
株式会社読売新聞東京本社 水戸支局長	本間 雅江
株式会社朝日新聞社 水戸総局長	蛭牟田 繁
株式会社毎日新聞社 水戸支局長	本多 健
株式会社産経新聞社 水戸支局長	三浦 馨
株式会社時事通信社 水戸支局長	小嶋 淳生
一般社団法人共同通信社 水戸支局長	井口 真介
株式会社常陽リビング社 編集部副編集長	坂入 祐司

委員

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市議会文教厚生委員長	松田 利勝
下館河川事務所黒子出張所長	鷺田 修三
茨城県常総工事事務所長	白戸 元文
下妻市スポーツ推進委員会委員長	平間 三男
下妻市スポーツ少年団本部長	柴崎 清一
下妻市小中学校体育連盟会長	中村 竜雄
茨城県立下妻第一高等学校長	細野 晃一
茨城県立下妻第二高等学校長	山中 孝男
茨城県立下妻特別支援学校長	古川 仁
下妻市PTA連絡協議会会長	内田 剛
下妻市ソフトボール連盟副会長	渡辺 則夫
下妻市ソフトボール連盟事務局	小島 浩二
下妻市商工会青年部部長	前野 弘明
下妻市商工会女性部副部長	栗崎 あつみ
下妻市金融団幹事	荒巻 智恵子
下妻市建設業会会長	塚田 隆
下妻市千代川建設業協会会長	中川原 勇
関東鉄道株式会社水海道駅管区駅長	大山 正
関鉄パールバス株式会社 下妻本社営業所長	大山 雅之
下妻市歯科医師会会長	金子 満昭
常総薬剤師会下妻班	外山 仁
公益社団法人茨城県柔道整復師会	中村 文男

所属機関・団体・役職名	氏名
下妻市観光物産会会長	飯塚 市郎
常総食品衛生協会専務理事	兼廣 實
下妻郵便局長	石原 恵一
下妻地方広域シルバー人材センター常務理事	中山 義則
下妻市消防団団長	高橋 周一
交通安全協会下妻支部支部長	渡辺 國男
下妻市文化団体連絡協議会会長	國府田 晋
青少年を育てる下妻市民の会会長	山崎 明正
下妻市食生活改善推進協議会会長	猪又 恭子
下妻市婦人会会長	栗原 キヨ
下妻食と農を考える女性の会会長	横島 幸子
下妻市老人クラブ連合会会長	鈴木 清
下妻ロータリークラブ会長	江田 治雄
下妻千代川ライオンズクラブ会長	森 隆幸
下妻市ボランティア連絡協議会会長	飯塚 はつひ
小貝川ふれあい花の会会長代行	山本 宗一
花と一万人の会会長	飯島 順一
下妻青年会議所理事長	松田 浩一

会 長	1 名
副 会 長	7 名
常任委員	22 名
監 事	2 名
顧 問	1 名
参 与	15 名
委 員	40 名
計	88 名

専門委員会名簿

【順不同・敬称略】

■総務企画専門委員会 (平成30年2月16日現在)

役職	所属機関・団体名	氏名
委員長	鬼怒川流域交流Eポート大会実行委員会	飯島 和一
副委員長	下妻市観光協会	山本 宗一
委員	下妻市商工会	菱沼 茂
	常総ひかり農業協同組合	染野 清
	下妻市自治区長連合会	猪瀬 憲一
	下妻市ふるさとづくり推進協議会	安原 春光
	下妻市建設業会	塚田 隆
	下妻市千代川建設業協会	横関 順一
	下妻地方広域シルバー人材センター	苅部 好弘
	下妻市文化団体連絡協議会	國府田 晋
	下妻市婦人会	栗原 キヨ
	下妻市老人クラブ連合会	須藤 常夫
	下妻市ボランティア連絡協議会	飯塚 はつひ
	下妻青年会議所	小口 泰永
	下妻市体育協会	三浦 仁
	下妻市ソフトボール連盟	小島 浩二
	茨城県ソフトボール協会	大久保 進司
	下妻市スポーツ推進委員会	富永 武久
	下妻市校長会	増田 徹
	茨城県立下妻第一高等学校	國府田 稔
	茨城県立下妻第二高等学校	小島 涉
	下妻市経済部	斉藤 敏
	下妻市市長公室秘書課	倉持 総男
	下妻市市長公室市民協働課	飯田 薫
	下妻市建設部都市整備課	鈴木 伸一
下妻市教育委員会学校教育課	高橋 浩之	

■競技式典専門委員会 (平成30年2月20日現在)

役職	所属機関・団体名	氏名
委員長	茨城県ソフトボール協会	大久保 進司
副委員長	下妻市体育協会	山本 学
委員	下妻市ソフトボール連盟	渡辺 則夫
	鬼怒川流域交流Eポート大会実行委員会	飯島 和一
	下妻市スポーツ推進委員会	富永 武久
	下妻市スポーツ少年団	飯村 純男
	下館河川事務所鎌庭出張所	浅野 貴浩
	下妻市小中学校体育連盟	増田 淳二
	茨城県高等学校体育連盟ソフトボール専門部	山口 純一

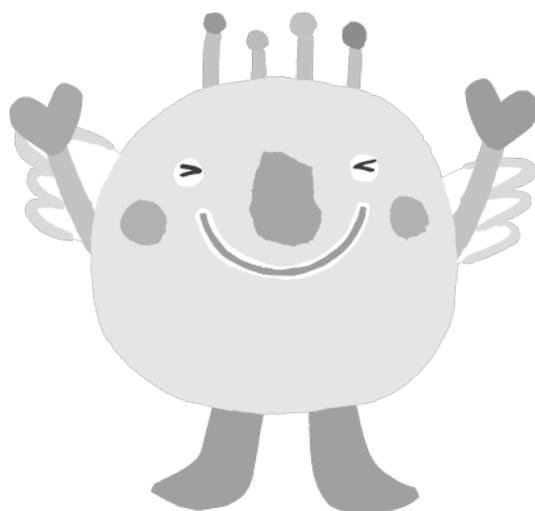
■宿泊衛生専門委員会 (平成30年2月16日現在)

役職	所属機関・団体名	氏名
委員長	茨城県常総保健所	古矢 賢司
副委員長	下妻市保健福祉部保健センター	森 陽子
委員	下妻市観光協会	山内 雄佑
	株式会社ふれあい下妻	松本 知明
	真壁医師会下妻支部	斉藤 憲太
	下妻市歯科医師会	飯村 仁一
	常総薬剤師会下妻班	外山 仁
	常総食品衛生協会	上野 要
	下妻市食生活改善推進連絡協議会	小林 まさ江
	下妻市経済部	斉藤 敏
	下妻市市民部生活環境課	平井 英雄

■輸送交通専門委員会 (平成31年3月28日現在)

役職	所属機関・団体名	氏名
委員長	下妻市消防団	高橋 周一
副委員長	下妻市総務部消防交通課	岡本 俊彦
委員	茨城県ハイヤー・タクシー協会県西支部下妻部会	黒須 英夫
	茨城県常総工事事務所	久松 勝弘
	関東鉄道株式会社	宮本 利男
	関鉄パールバス株式会社	大山 雅之
	下妻警察署	海老根 正博
	下妻消防署	皆葉 清
	交通安全協会下妻支部	長谷川 弘
下妻市建設部建設課	増子 朋哉	

みなさまの心温まるご支援、ご協力
ありがとうございました。



天皇陛下御即位記念
いきいき茨城ゆめ国体 2019
第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

いきいき茨城ゆめ国体下妻市大会報告書

(令和2年2月発行)

編集発行：第74回国民体育大会下妻市実行委員会

〒304-8555 茨城県下妻市鬼怒 230 番地

TEL：0296-43-2111(代表)

■報告書の取扱いについて この報告書の記事、写真等の著作権は、第74回国民体育大会下妻市実行委員会及び当該情報提供者にありますので、無断での使用はできません。



**いきいき茨城ゆめ国体
下妻市実行委員会**

The 74th National Sports Festival
In Shimotsuma City